

平成20年度行政評価結果の公表（第1回）について

平成20年8月28日
市長公室

1 公表の趣旨

効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明するために取り組んできた行政評価について、平成20年度第1回の評価結果を公表するものである。

2 公表の内容及び方法

(1) 内容

行政評価システムの概要、事務事業評価結果、施策の達成度評価結果、施策の貢献度評価結果・・・別紙のとおり。

(2) 方法（時期）

- ① 「ウェブもりおか」掲載 平成20年9月
- ② 市の主要施設への備付け 平成20年9月
- ③ 「広報もりおか」掲載 平成20年10月1日号
- ④ 報道機関への資料提供 平成20年8月

3 今後の予定

- (1) 第2回 平成20年11月 施策の優先度評価結果、平成21年度予算重点化施策等の基本方針
- (2) 第3回 平成21年2月 事務事業事前評価結果

平成 20 年度
行政評価結果

【第1回】

平成 20 年 8 月
盛岡市

はじめに

市では、効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明するための手段として、「行政評価システム」を導入しています。

このシステムは、市が行う行政活動の現状を把握し、目標値を定め、その活動の結果もたらされた成果や市民の満足度について評価を行い、評価結果を次年度以降の市政に反映させていくものです。

多くの市民の皆様はこの行政評価システムをご覧いただき、市の行政活動についてのご理解と、盛岡市政を改革・改善するうえでのご意見をいただきたいと考えています。

なお、市ホームページ「ウェブもりおか」にも掲載しています。

<http://www.city.morioka.iwate.jp/17gyoukaku/gyoukaku/ghyouka/index.html>

目 次

I 行政評価について

- 1. 行政評価とは何か 1
- 2. 行政評価は何のために行うのか 1
- 3. どのような仕組みか 2
- 4. 評価結果を何に反映させるのか 2

II 平成19年度振り返り結果

- 1. 事務事業の事後評価 4
- 2. 施策の達成度評価 5
- 3. 施策の貢献度評価 58

III 平成21年度予算編成への反映

- 1. 行政評価システムを活用した予算編成
- 2. 施策の優先度評価
- 3. 平成21年度に重点的に取り組む施策
- 4. 事務事業事前評価

平成 20 年 11 月頃に
公表する予定です。

平成 21 年 2 月頃に
公表する予定です。

I 行政評価について

1 行政評価とは何か

行政評価は、効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明するための手段です。

市が行うさまざまな事業を対象に、事業の目的や成果・効果をできるだけ数値化してわかりやすくするとともに、行政として果たすべき役割を踏まえ、事業の必要性や上位の施策及び政策に対する位置付け、あるいは事業環境の変化や事業の特性などについて、総合的な視点から整理・点検し、その結果を総合計画の進行管理、行政改革、予算編成などに活用することによって、効率的で質の高い市政運営を実現することを目指しています。

2 行政評価は何のために行うのか

市の仕事をマネジメント（企画、実施、評価）することによって、

ア まちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

～施策達成度の公表～

施策評価を実施し、その結果を市民に公表することにより、本市のまちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

イ まちづくり課題に優先順位を付けて、限られた資源を有効かつ効率的に使います。

～経営資源の有効活用～

財政状況が厳しい中、限りある資源（税金等の収入、人材、もの）をまちづくり課題の優先順位に沿って有効かつ効率的に使うことにより、より一層の効果を発揮できるようにします。

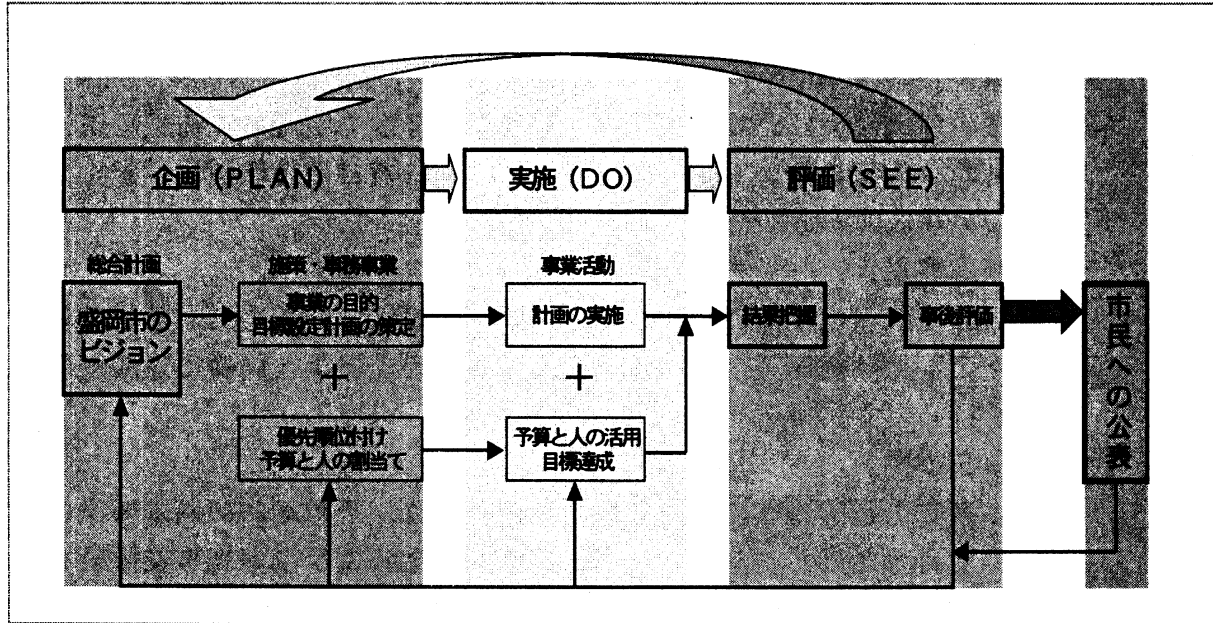
ウ 市の仕事をより価値のあるものへ改革改善し続けます。

～継続的な改革改善と人材開発の実践～

毎年市が行っている仕事を継続的に評価することにより改革改善を行うとともに、振り返りと改革改善を常に繰り返すことによって職員の政策形成能力を高め、より高い市政の運営ができるようにします。

3 どのような仕組みか

企画（PLAN）→実施（DO）→評価（SEE）の循環（マネジメントサイクル）を確立し、市が行う行政活動についてたえず振り返りを行うことにより、次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。



4 評価結果を何に反映させるのか

行政評価の評価結果は、総合計画の進行管理、予算の編成などに反映させていくこととしています。

総合計画については、総合計画の各施策ごとに設定されている目標値と毎年度の評価結果を比較しながら、目標値の達成に向けた進行管理をしています。

予算編成については、評価結果に基づき翌年度の予算の重点配分施策、水準維持施策、配分抑制施策を決定し、施策ごとに予算を配分する「施策別予算配分方式」による予算編成を行っています。

用語の解説

- ・ 「**施策の柱**」

総合計画の基本構想に掲げているまちづくりの基本目標を実現するため、市が行う施策を大きく分類したものの。

- ・ 「**施策**」

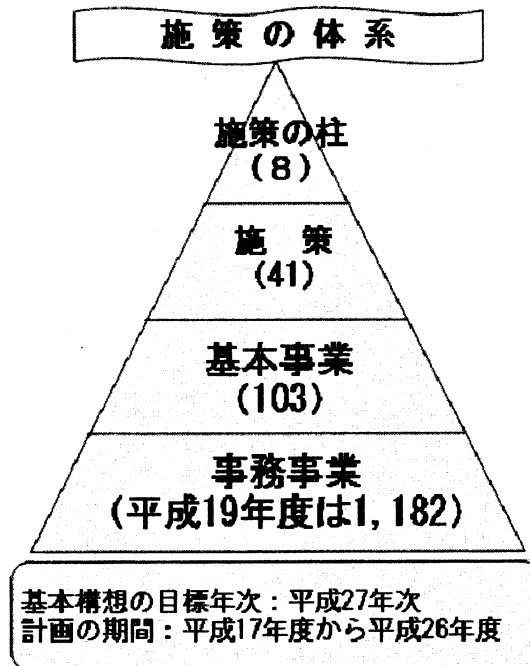
施策の柱（政策）の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策の柱の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

- ・ 「**基本事業**」

施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策の下に“小施策”として位置付けたもの。施策と同様に達成度の評価を行います。

- ・ 「**事務事業**」

基本事業の目的達成に向けて取り組むために、それぞれの基本事業の下に位置付けた具体的な市の仕事・活動のこと。毎年度事務事業評価を行い、改革改善を行いながら実施していきます。



Ⅱ 平成19年度振り返り結果

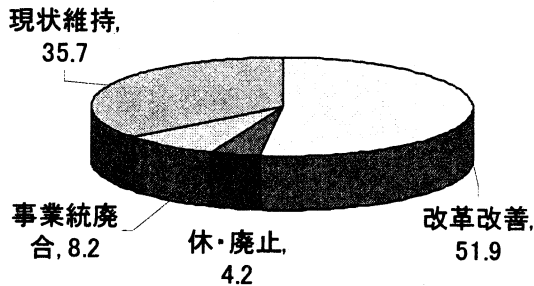
1 事務事業の事後評価

平成19年度に市が行ったすべての行政活動（1,182 事務事業）を、成果指標の実績値、有効性、効率性、向上余地などの点から評価し、今後の事業運営について、「休・廃止（終了を含む）」、「統廃合」、「改革改善を行う」、「現状維持」いずれかの方向付けを行いました。

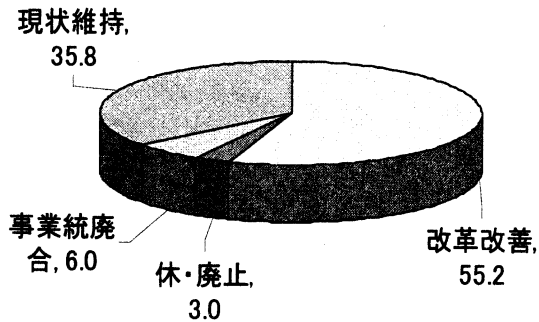
評価を実施した全事務事業がどのような方向付けをされたか、その割合を示したのが下の表（グラフ）です。

		平成20年度事務事業評価結果		平成19年度事務事業評価結果	
		事務事業数	割合 (%)	事務事業数	割合 (%)
休・廃止（終了を含む）		50	4.2	35	3.0
継 続	統 廃 合	97	8.2	69	6.0
	改 革 改 善	613	51.9	638	55.2
	現 状 維 持	422	35.7	413	35.8
合 計		1,182	100.0	1,155	100.0

【平成20年度事務事業評価結果】



【平成19年度事務事業評価結果】



2 施策の達成度評価

市では、平成 27 年を目標年次とする総合計画において、「人々が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」というまちづくりの基本目標を掲げ、8 つの施策の柱（政策）の下で、「まちづくりの課題」である各種の施策を推進しています。

これら施策は 41 に分類されていますが、施策達成度評価は、各施策が目標に対しどの程度推進されたか（成果水準）を評価するものです。

評価は、施策ごとに設定されている成果指標の達成の水準（指標の水準）と各施策の取り組み結果に対する市民の満足度の二つの要素により実施しました。

$$\text{成果水準} = \text{指標の水準} + \text{市民満足度}$$

「指標の水準」については、まず、各施策ごとに設定されている目標値と平成 19 年度末の実績値との比較（目標値比較）、東北各県県庁所在都市等との比較（近隣比較）、過去 3 ヶ年間の実績との比較（経年比較）の三点から成果指標の水準を評価します。このとき、基本事業に設定されている目標値と平成 19 年度末の実績値との比較（目標値比較）についても加味しました。

$$\text{指標の水準} = \text{目標値比較} + \text{近隣比較} + \text{経年比較}$$

「市民満足度」については、市民意識調査結果に基づいて、各施策の市民満足度を評価しました。

また、「各施策の成果向上に市が果たす役割の大きさ」を評価しました。これについては、58 ページで説明する施策貢献度評価に反映させています。

評価方法や基準は次のとおりで、各施策の評価結果は 8 ページ以降に掲載しています（より詳しくお知りになりたい方は、60 ページの「参考資料：施策達成度評価の手順」をご覧ください）。

【評価方法・基準】

<評価基準>

◎成果水準 次に述べる「指標の水準」と「市民満足度」の評価結果から、総合的な成果水準を「高い」「やや高い」「標準」「やや低い」「低い」の5段階で評価しています。

○指標の水準 成果指標について、次の①～③の観点からそれぞれ5段階評価を行い、さらにそれらを総合化し、「高い」「やや高い」「標準」「やや低い」「低い」の5段階で評価しています。

①目標値比較 「高い」……目標値を大きく上回った。
「やや高い」…目標値を若干上回った。
「概ね達成」…概ね目標値のとおりだった。
「やや低い」…目標値を若干下回った。
「低い」……目標値を大きく下回った。

②近隣比較 「高い」……近隣他都市等と比べて高い水準である。
「やや高い」…近隣他都市等と比べてどちらかと言えば高い水準である。
「中位」……近隣他都市等と比べて中位の水準である。
「やや低い」…近隣他都市等と比べてどちらかと言えば低い水準である。
「低い」……近隣他都市等と比べて低い水準である。

※近隣比較は、東北の各県庁所在都市及び中核市との比較を基本としながら、成果指標の特性に応じて、近隣町村との比較を行っています。

③経年比較 「高い」……過去3カ年の実績と比べて高い水準にある。
「やや高い」…過去3カ年の実績と比べてどちらかと言えば高い水準である。
「中位」……過去3カ年の実績と比べて中位の水準である。
「やや低い」…過去3カ年の実績と比べてどちらかと言えば低い水準である。
「低い」……過去3カ年の実績と比べて低い水準である。

○市民満足度 市では、平成19年度に無作為で抽出した市民4740人（満20歳以上の市民の2パーセント）を対象に市民意識調査を実施しましたが、この中で、総合計画に掲げる41施策に関して、どのように感じているかを「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の5段階でたずねました。

市民満足度は、各施策に対して「満足」「やや満足」「不満」「やや不満」と答えた市民の数を得点化し、その結果をもとに市民の満足度を5段階で評価しました。

「高い」……市民の満足度は高い水準である。

「やや高い」……市民の満足度はどちらかと言えば高い水準である。

「中位」……市民の満足度は中位の水準である。

「やや低い」……市民の満足度はどちらかと言えば低い水準である。

「低い」……市民の満足度は低い水準である。

【その他の解説】

○市の役割…施策の成果を向上させるのために、市が果たす役割の大きさがどれくらいあるかを、施策の実態に基づき、次の4段階で評価しました。

「大きい」……市がほぼ単独で取り組んできた。

「やや大きい」……市が市民や事業所、国や県をリードしてきた。

「やや小さい」……中心になって取り組んできたのは市民や事業所、国や県であり、市は支援や周辺範囲に留まった。

「小さい」……取り組みのほとんどは市民や事業所、国や県であり、市の役割は限定的であった。

○成果指標…施策の意図（どのような状態を目指すのか）を客観的な数値で表したものです。平成19年度の目標値と実績値を掲載しています。目標達成度を評価するにあたっての判断材料となります。

指標名の末尾にある記号のうち（↑）は、数値を上げていくことを目標とするもの、（↓）は、数値を下げっていくことを目標とするもの、（→）は、現状を維持していくことを目標とするものです。

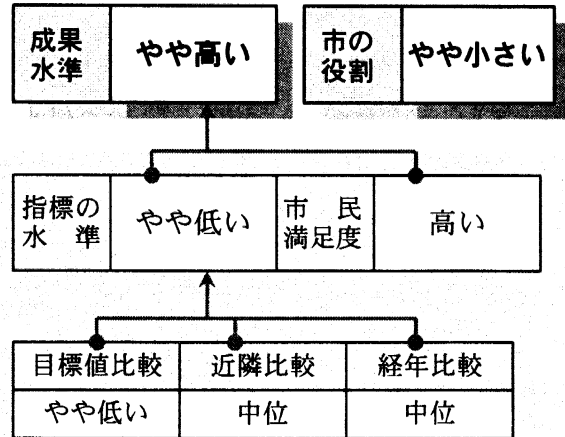
○基本事業…施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策の下に“小施策”として位置付けたものです。施策と同様に成果指標を掲載しています。

○事務事業…基本事業の目的達成に向けて取り組むために、それぞれの基本事業の下に位置付けた具体的な市の仕事・活動です。表中には、基本事業に貼り付く事務事業数と評価の結果から決定された今後の方向性（「休・廃止」「統廃合」「改革改善」「現状維持」）ごとの事務事業数を掲載しています。

11 健やかに暮らせる健康づくりの推進

【取組内容と成果】

市民が、生活習慣に起因する内臓脂肪症候群やがん等の症状が疑われる早期の段階から改善や治療に取り組めるよう、がん健診等の受診勧奨、各種健康教室・相談の実施など地域に根ざした保健活動に努めた。



成果指標			
指標名	単位	H19目標	H19実績
生活習慣病3大死因（全死因に対する割合） ①がん（↓） ②脳血管（↓） ③心疾患（↓）	%	33.0	30.7
アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合（↑）	%	-	-

実績値の年次推移

調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値及び実績値の記載を省略しています。

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
健康の保持増進	健康教育・相談者数（人）	人	18,400	16,078
保健予防の推進	基本健康診査受診率（%）	%	55.0	52.4

市民満足度

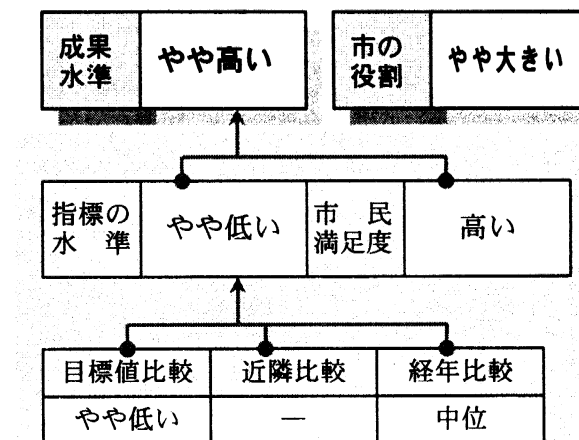
■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満

12 地域をリードする医療体制の確立

【取組内容と成果】

市民がいつでも適切な医療が受けられる仕組みづくりを図るため、市広報や医師会ホームページなどにより夜間急患診療所や休日当番医、二次救急医療機関及び一般診療所等の周知に努めたほか、新聞やタウン誌などマスコミへ協力を依頼し取り上げてもらった。また、医師会の協力のもと、かかりつけ医の必要性を患者等にPRした。

市立病院は、平成19年4月から地方公営企業法の全部適用を行うとともに、平成18年度に策定した経営改善計画に基づき、経営改善に努めたところであるが、退職した医師の補充ができなかったことなどによる患者数の減や、



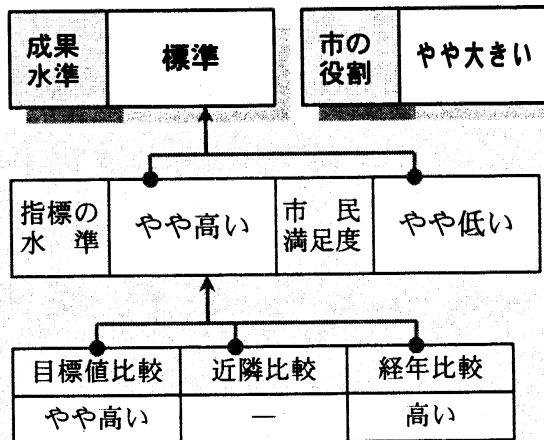
昨今の医療制度の改正に伴い、目標とした医療収益の確保ができなかったものである。

成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合(%)	%	83.0	79.9		
基本事業	成果指標				
	指標名	単位	H19目標	H19実績	
医療機関との連携強化	アンケート調査「かかりつけ医がいる」と答えた市民の割合(%)	%	61	56	
市立病院の健全経営	医療収益(一般会計負担金を除く。)(千円)	千円	3,152,701	2,527,285	
	純損益(円)	円	△248,851	△421,189	
	経常収支比率(%)	%	93.1	86.5	
救急体制の充実	救急自動車の平均到着時間(分)	分	—	6.2	
市民満足度					
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>				

13 共に歩む障害者福祉の実現

【取組内容と成果】

障害者自立支援法が施行され、市では平成23年度を目標年次とする障害福祉実施計画を策定し、障害者が安定した生活を営むことができるよう、また、障害の特性等に応じた質の高いサービスを受けることができるよう、障害者福祉サービスの充実を図った。その後、国では制度の定着を図るため、特別対策、さらには法の抜本的見直しに向けた緊急措置が講じられ、制度の周知をはじめその対応に努めた。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
障害者福祉サービス受給者数/障害者手帳所持者数（身体・療育・精神）（ \uparrow ）	%	12.83	13.06	<div style="text-align: center;"> <p>実績値の年次推移</p> <p>当初 H17 H18 H19</p> </div> <p>あらたに設定した指標であるため、目標値、実績値及び年次推移は記載を省略しています。</p>
施設、病院から地域への移行（ \uparrow ）	人	—	—	
施設から一般就労への移行（ \uparrow ）	人	—	—	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
理解と交流の促進	アンケート調査「障害者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合（ \uparrow ）	%		調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値及び実績値の記載を省略しています。
	障害者アンケート調査「障害者に対する市民の理解が進んだ」と答えた市民の割合（ \uparrow ）	%		
障害者福祉サービスの充実	障害者アンケート調査「就労している障害者割合」（ \uparrow ）	%		
市民満足度	■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満			

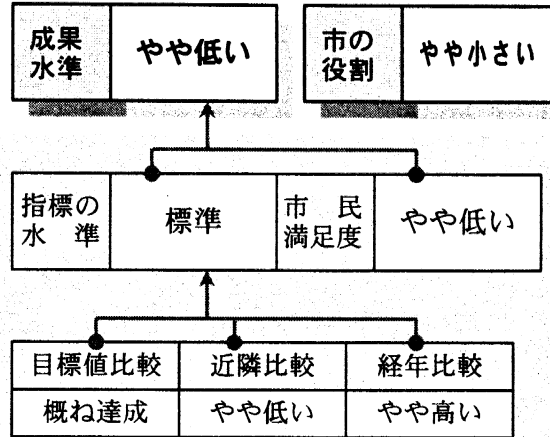
14 高齢社会に適応した高齢者福祉の充実

【取組内容と成果】

- ①市内7箇所の地域包括支援センターと11箇所の介護支援センターにおいて、身近な相談窓口として24時間体制で相談事業や手続きの代行業務等を行った。また、包括的継続的支援事業として、地域ケア会議の予防部会とサービス部会を開催し、地域福祉推進会や民生委員等の参加者の情報交換を通じて相互に理解を深め、事業の共同開催につなげたり、関係機関のネットワーク形成を図った。
- ②老人福祉センターで各種事業展開を行ったほか、シルバーメイト事業などを盛岡市社会福祉協議会や地区福祉推進会などと共同で実施し、地域福祉の向上を図った。

【成果を得られた要因】

介護予防事業として、地域福祉推進会等の協力を得ながら、転倒予防教室やいきいき健康回復教室、配食サービスなどの在宅福祉サービスを実施したことが要因と考えられる。また、各地域包括支援センターが開催した地域ケア会議において、民生委員や地区福祉推進会役員等の市民が参加し情報交換を行ったこと、共同開催方式で行ったことなども一因であると考えられる。

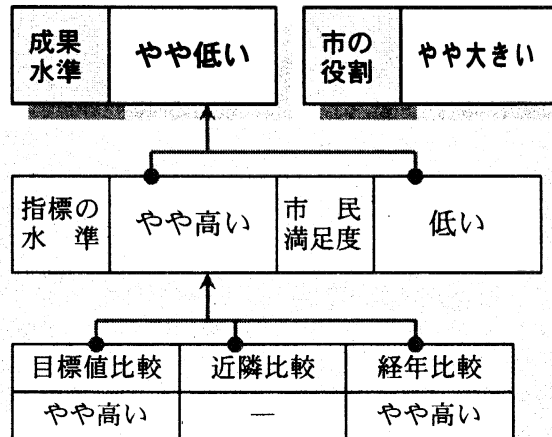


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
介護保険認定者数/65歳以上人口 (→)	%	15.5	16.2	<div style="text-align: center;">実績値の年次推移</div>
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
高齢者の社会参加の促進	生きがい活動をしている高齢者数 (人)	人	316,231	284,293
	シルバー人材センター登録率 (人)	%	1.1	1.2
高齢者福祉サービスの充実	相談などを受けている高齢者数 (人)	人	20,000	18,960
	介護予防事業参加者数 (人)	人	2,079	310
	介護保険サービス利用者数 (人)	人	7,524	7,942
市民満足度	<div style="text-align: center;"> ■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満 </div>			

15 暮らしを支える制度の充実と自立支援

【取組内容と成果】

経済的な自立を図るため、所内検討会議の開催や関係機関との連携により、対象者個々の能力や活用可能な制度などに着目した処遇に努めたことで、当該年度の自立支援計画を上回ることが出来た。



成果指標			
指標名	単位	H19目標	H19実績
自立世帯数 (保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く)(→)	%	88	110

実績値の年次推移

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
経済的自立の促進	自立世帯数(保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く)(↑)	世帯	88	110
	1人当たり平均年間受診件数(→)	件	21.3	22.3
	市営住宅における高齢者仕様住戸率(↑)	%	28.4	27.5
国保制度の健全運営	保険者負担額(→)	千円	15,612,000	16,677,905
	1人当たり療養諸費費用額(↓)	円	301,000	298,180
	現年度収納率(↑)	%	86.7	85.95
	実質単年度収支額(→)	千円	0	15,200

市民満足度

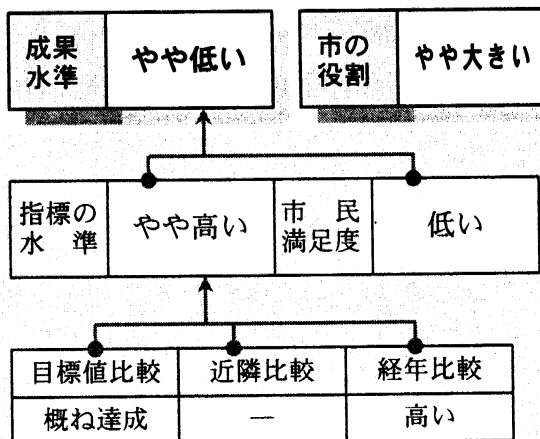
16 みんなで支える子育て支援の展開

【取組内容と成果】

保育環境の充実を図るため、保育所定員を拡大したが、低年齢児を中心に待機児童が発生し、解消には至らなかった。

また、育児不安の解消を図るため、つどいの広場事業では中心商店街でのイベントの開催などを通じ周知を図ったほか、地域子育て支援事業では、遊びの広場事業の実施回数の拡大や小規模型指定施設のセンター型施設への移行などにより、利用者の大幅な増加につながった。これらの事業の利用者アンケートから、育児相談や親同士の交流を通じ、子育ての負担感の緩和が図られていることがうかがえる。

母子保健の推進を図るため、未受診児へ、はがきでの受診勧奨や電話・家庭訪問を通じて保護者の理解を図った。また、年6回休日健診を行い、平日に仕事を休めない保護者の利便を図った。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績	実績値の年次推移	
子育て支援サービス利用者数 (↑)	人	29,738	34,025		
アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合 (↓)	%	—	—	調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値、実績値及び年次推移の記載を省略しています。	
基本事業	成果指標				
	指標名	単位	H19目標	H19実績	
保育環境の充実	待機児童数 (↓)	人	46	130	
育児不安の軽減	アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合 (↓)	%	調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値及び実績値の記載を省略しています。		
母子保健・予防の推進	3歳児健康診査受診率 (↑)	%	93.6	95.8	
	妊婦健康診査受診率 (↑)	%	93.0	96.0	
市民満足度					
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>				

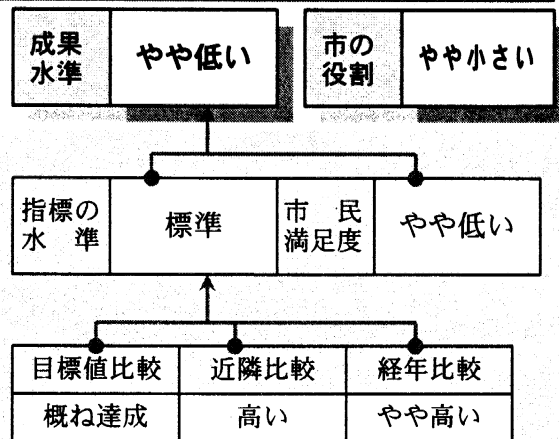
17 ふれあいが広がる地域福祉の実現

【取組内容と成果】

19年度から、2カ年計画で、地域福祉ワークショップを地区福祉推進会（32地区）単位に社会福祉協議会と共同で開催した。ワークショップでは地区ごとの福祉課題を5～6テーマ取り上げ、地域の現状と比較する中で、将来の地域の福祉活動の姿がどうあればいいのを中心に討議を行った。このことで、地域の福祉課題が掘り起こされ、課題解決に向けた取り組みの動機付けがなされたと考えられる。また、長年の懸案であった、災害時要援護者情報を地域と共有を図るため、民生委員に調査を依頼し、同意を得られた要援護者の名簿を地域に配布した。

この一連の活動を通じて、地域における近隣相互の支えあいの重要性が改めて認識されるなど、地域福祉（自助・共助の精神）に対する関心が高まったと考えられる。

これらの成果は、社会福祉協議会や地区福祉推進会、民生児童委員協議会など福祉関係団体との協働の産物であり、今後も緊密な連携が重要であるといえる。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
盛岡市社会福祉協議会ボランティア登録者数（人）	人	10,120	9,963	<p>当初値 9,662 H17 9,744 H18 10,070 H19 9,963</p>	
市や盛岡市社会福祉協議会に登録している福祉活動を行うNPOやボランティア団体数（人）	団体	140	143		あらたに設定した指標であるため年次推移は記載を省略しています。
アンケート調査「身の回りでボランティア活動が行われていると感じる」と答えた市民の割合（％）	％	—	—		あらたに設定した指標であるため目標値、実績値及び年次推移は記載を省略しています。
基本事業	成果指標				
	指標名	単位	H19目標	H19実績	
地域福祉の充実	アンケート調査「ボランティア活動をしたことがある」と答えた市民の割合（％）	％		調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値及び実績値の記載を省略しています。	
市民満足度	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>				
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>				

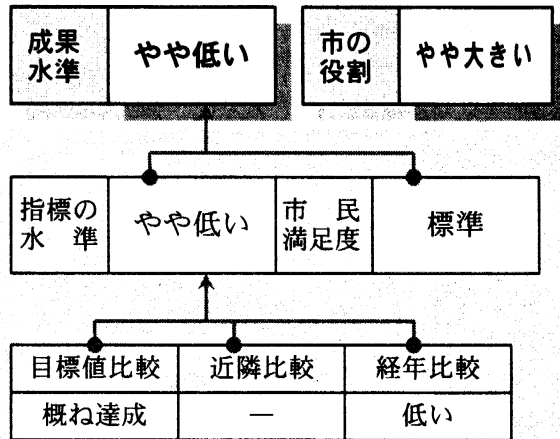
21 自然災害対策の推進

【取組内容と成果】

盛岡地域の浸水区域見直し及び玉山区に係る浸水想定区域の設定を踏まえて洪水ハザードマップを見直し、全戸配布を行い洪水の危険性や迅速な避難行動の普及啓発に努めた。

盛岡市における自主防災組織の結成率は低い状況にあり、市民協働の防災体制づくりを目指し、町内会やコミュニティを中心とした全市的な「自主防災組織」の結成に取り組んだ。

また、地震や水害等の自然災害に備え、被害が最小限になるように、斜面等の危険解消対策や河川の改修工事を進めた。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合(%)	%	78.0	70.7		
アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合(%)	%	32	29.3		
アンケート調査「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合(%)	%	44	39.1		

基本事業	成果指標													
	指標名	単位	H19目標	H19実績										
危険箇所の解消	土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の指定箇所数/急傾斜地崩壊危険箇所数及び土石流危険渓流箇所(ノ)	%	63	34										
防災体制の強化	アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合(ノ)	%	78	70.7										
	アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合(ノ)	%	32	29.3										
	アンケート調査「防災訓練に参加する」と答えた市民の割合(ノ)	%	44	39.1										
	町内会・コミュニティの自主防災組織率(ノ)	%	23	42.8										
市民満足度	<div style="text-align: center;"> 満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満 </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>満足</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>58.4</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>5.6</td> </tr> </table>				満足	2.8	やや満足	19.9	どちらともいえない	58.4	やや不満	13.3	不満	5.6
	満足	2.8												
やや満足	19.9													
どちらともいえない	58.4													
やや不満	13.3													
不満	5.6													

22 火災に強い消防体制の構築

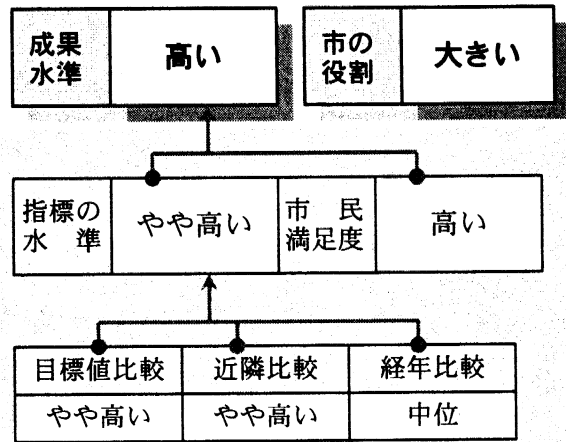
【取組内容と成果】

成果指標からは、一定の成果が得られた。しかし、近年は国内外で地震や風水害等による大規模災害が頻発しており、当市においても19年9月の大雨により、災害対策本部を設置して避難勧告を発令するなどの事態が発生したことから、市民の常備、非常備の消防に対する期待が一段と高まっている。また、消防団員の処遇改善や消防用備品・装備品等の充実を、議会等から要望されている。

このため、消防団員の資質向上や消防用備品・装備品等の充実、防災の拠点施設として、地区コミュニティ消防センターの整備等を計画的に実施した。

市民の生命、身体及び財産を火災等の災害から守るため、消防ポンプ自動車等の購入や防火水槽の整備を行うための経費について、盛岡広域行政事務組合に負担金を支出し、消防力の基準にあった常備消防の整備を進めた。

また、市民協働の防災まちづくりに向け、住民の防火意識の高揚や自主防災体制の確立、婦人消防協力隊の活動支援等を行った。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
人口1万人あたりの火災発生件数(↓)	件	2.8	2.1		
出火件数(↓)	件	80	63		

成果指標				実績値の年次推移										
指標名	単位	H19目標	H19実績											
建物焼損床面積 (↓)	㎡	1,000	1,895	<p>実績値の年次推移</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>1,209</td></tr> <tr><td>H17</td><td>1,913</td></tr> <tr><td>H18</td><td>2,667</td></tr> <tr><td>H19</td><td>1,895</td></tr> </table>	年次	実績値	当初値	1,209	H17	1,913	H18	2,667	H19	1,895
年次	実績値													
当初値	1,209													
H17	1,913													
H18	2,667													
H19	1,895													
類焼損害額 (↓)	千円	100,000	123,656	<p>実績値の年次推移</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>当初値</td><td>134,548</td></tr> <tr><td>H17</td><td>129,884</td></tr> <tr><td>H18</td><td>192,719</td></tr> <tr><td>H19</td><td>123,656</td></tr> </table>	年次	実績値	当初値	134,548	H17	129,884	H18	192,719	H19	123,656
年次	実績値													
当初値	134,548													
H17	129,884													
H18	192,719													
H19	123,656													

基本事業	成果指標															
	指標名	単位	H19目標	H19実績												
防火意識の向上	出火件数 (↓)	件	80	63												
	建物焼損床面積 (→)	㎡	1,000	1,895												
	類焼損害額 (↓)	千円	100,000	123,656												
消防力の強化	覚知から放水までの平均所要時間 (↓)	分	7.4	6.1												
市民満足度	<p>市民満足度</p> <table border="1"> <tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>満足</td><td>31.8</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>53.0</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>6.4</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>2.3</td></tr> <tr><td>不満</td><td>2.3</td></tr> </table>				満足度	割合	満足	31.8	やや満足	53.0	どちらともいえない	6.4	やや不満	2.3	不満	2.3
	満足度	割合														
満足	31.8															
やや満足	53.0															
どちらともいえない	6.4															
やや不満	2.3															
不満	2.3															

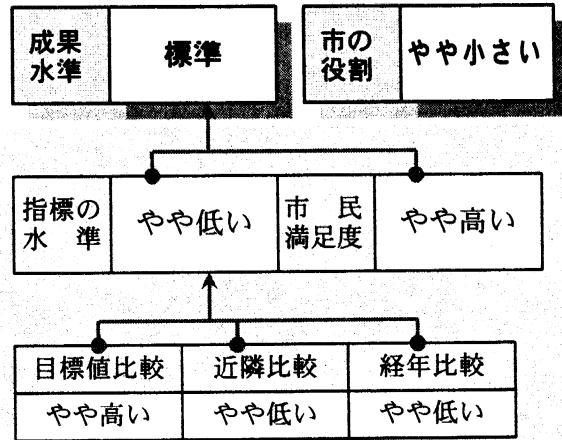
23 市民生活を守る安全対策の充実

【取組内容と成果】

・盛岡市の人口1万人あたりの交通事故発生件数は、全国平均の82.8%と低いものの、近隣自治体と比較するとやや高い状況となっている。高齢者が交通事故被害者や加害者となる割合が年々高まっていることから、幼稚園・保育園や小中学校を対象とした交通安全教室のほかに、高齢者向けの交通安全教室の開催や、警察署・自動車教習所と連携し、高齢者を対象に自動車運転技能講習会を実施したことなどにより、平成19年の盛岡市の交通事故死者数は、過去最低だった前年より若干増加したが、交通事故件数は減少しており、交通安全教育が一定の効果をあげたと評価できる。

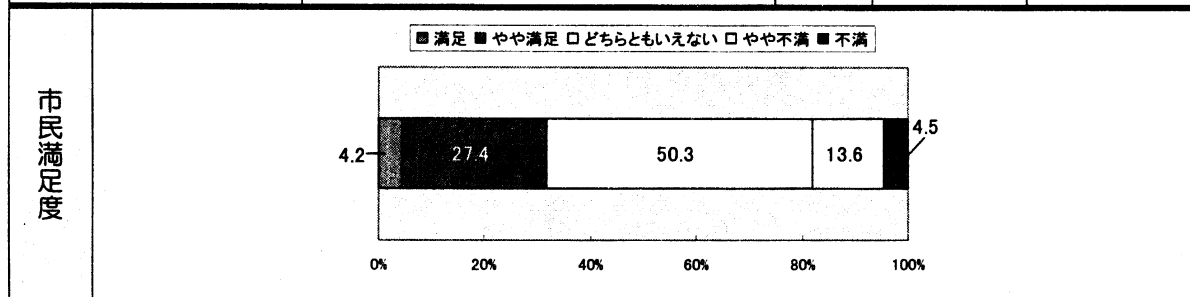
・盛岡市の人口1万人あたりの刑法犯発生件数は、全国平均の70.6%と低いものの、秋田市に比べると12.8ポイント高い状況である。防犯活動は地域ごとの日常の取組みが重要であることから、地域で継続的な活動ができるよう支援することが求められており、その支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的に、町内会・自治会を対象として、全市的な防犯活動の実態調査を行った。

・消費生活相談の解決率は、98.1%と目標値を維持しているものの、近隣自治体と比較するとやや低い状況となっている。悪質商法や多重債務が多発するなか、被害にあわない賢い消費者になるための消費者講座を年間178回開催するとともに、消費生活相談は、相談者の立場に立ったきめ細やかな対応を行うなど、予防・相談の両面から取り組んだ。



成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H19目標	H19実績	
人口1万人あたりの交通事故発生件数 (↘)	件	52.7	54.0	あらたに設定した指標であるため年次推移は記載を省略しています。
人口1万人あたりの刑法犯発生件数 (↘)	件	112.1	105.6	あらたに設定した指標であるため年次推移は記載を省略しています。
消費生活相談の解決率: 解決した件数/消費生活相談件数 (→)	%	98.0	98.1	

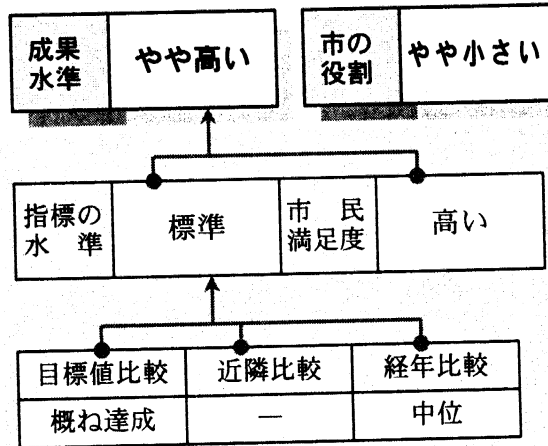
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
交通安全の推進	人口1万人当たりの交通事故発生件数：当市の数値／全国平均（↓）	%	83.2	82.8
	人口1万人当たりの交通事故発生件数（↓）	件	52.7	54.0
防犯対策の推進	人口1万人当たりの刑法犯発生件数：市内の警察署の数値／全国平均（↓）	%	75.0	70.6
	人口1万人当たりの刑法犯発生件数（↓）	件	112.1	105.6
消費者の自立支援	消費生活相談の解決率：解決した件数／消費生活相談件数（→）	%	98.0	98.1



31 元気な地域コミュニティ活動の推進

【取組内容と成果】

- アンケート調査「地域コミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合は、目標値及び前年度を下回っているが、コミュニティ活動においてコミュニティリーダーの役割は重要であることから、コミュニティリーダーを対象に地域におけるコミュニティ活動の重要性について研修会を開催した。また、コミュニティ活動の参考としていただくため各地区で実践されている活動を紹介する情報誌を発行した。
- 施設の管理運営は、平成18年度から、指定管理者精度に移行しており、管理運営の効率化に努めた。成果指標「コミュニティ活動の延べ参加者数」は目標値及び前年度を上回っている。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「地域のコミュニティ活動に参加したことがある」と答えた市民の割合 (％)	％	61.4	59.8	
コミュニティ活動の延べ参加者数 (人)	人	567,000	576,723	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
コミュニティ活動の促進	コミュニティ活動参加者数 (人)	人	87,000	62,708
コミュニティ活動のための施設活用	コミュニティ施設の利用者数 (人)	人	480,000	514,015
市民満足度				
	<p>■ 満足 ■ やや満足 □ どちらともいえない □ やや不満 ■ 不満</p>			

32 人権を尊重する地域社会の形成

【取組内容と成果】

ア 男女共同参画意識の高揚と活動支援について

情報紙の発行，研修案内

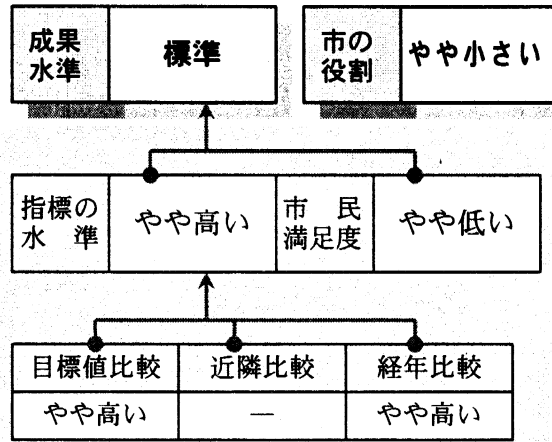
イ 平和・人権啓発の推進について

非核平和パネル展の実施・プレートの設置・横断幕の掲示，中学生の広島市派遣，戦没者追悼式の実施，盛岡人権擁護委員協議会への支援

【成果】 人権相談件数（人権擁護委員人権相談，女性センター女性相談，児童福祉課母子相談）の件数が増えたこと。

【成果を得られた要因】

問題解決の糸口としてまず相談窓口への意識が浸透してきたこと。

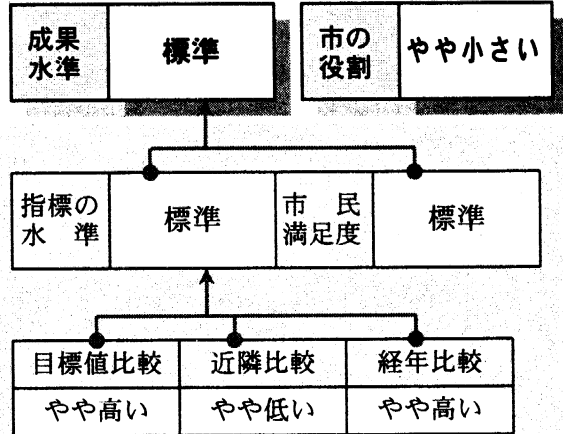


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
人権侵犯事件数（法務局）(ㇿ)	件	72	22	<p>実績値の年次推移</p>
人権相談件数（人権擁護委員人権相談，女性センター女性相談，児童福祉課母子相談）(ㇿ)	件	3,760	4,644	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
男女共同参画意識の高揚と活動支援	各種審議会の女性委員就任率 (ㇿ)	%	32.0	25.4
	アンケート調査「非核平和都市宣言を知っている」と答えた市民の割合 (ㇿ)	%	47.1	41.2
平和・人権啓発の推進	アンケート調査「人権擁護委員を知っている」と答えた市民の割合 (ㇿ)	%	34.4	27.3
	<p>市民満足度</p>			

33 多様な国際交流・地域間交流の推進

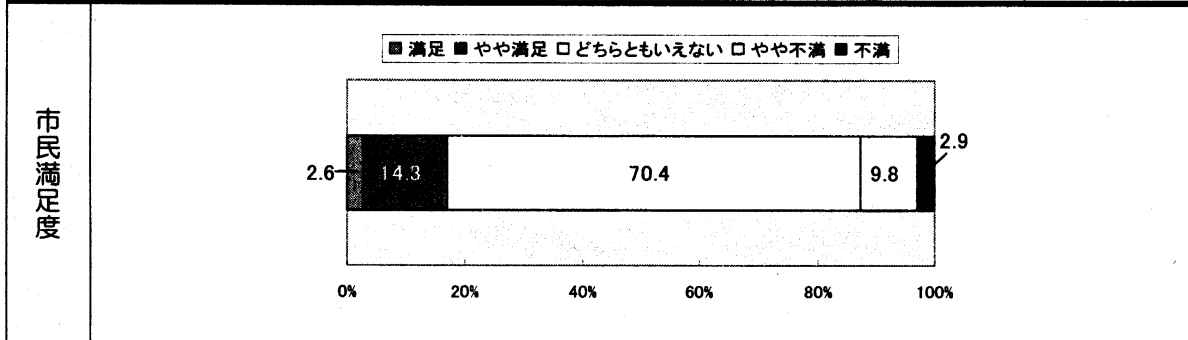
【取組内容と成果】

- ・(財)盛岡国際交流協会の事業について、マスメディアに取り上げてもらい、協会事業の周知を図った。市民団体等との連携強化は、趣旨が同じ事業を共催して実施した。また、盛岡国際交流協会の中期計画を策定し、今後の協会運営について方針を明確にした。
- ・生徒の海外派遣では、参加生徒の国際性を培うため、生徒同士の交流だけではなく、文化紹介等を発信する機会を増やすよう研修内容を工夫した。
- ・事業担当市として、新たに「食を通じた交流人口増加策」をテーマとしたワークショップや基調講演からなる「秋田岩手地域連携推進シンポジウム」の開催と交流人口増加策を協議会として検討する際の資料に供する目的で「道の駅利用者意識調査」を実施した。



成果指標				調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値、実績値及び年次推移の記載を省略しています。										
指標名	単位	H19目標	H19実績											
アンケート調査「国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合 (%)	%	—	—											
盛岡国際交流協会賛助会員数 (個人) (人)	人	180	182	<p>実績値の年次推移</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H17</td><td>H18</td><td>H19</td></tr> <tr><th>人数</th><td>151</td><td>135</td><td>174</td><td>182</td></tr> </table>	年度	当初値	H17	H18	H19	人数	151	135	174	182
年度	当初値	H17	H18	H19										
人数	151	135	174	182										
盛岡国際交流協会賛助会員数 (団体) (団体)	団体	14	18	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H17</td><td>H18</td><td>H19</td></tr> <tr><th>人数</th><td>12</td><td>13</td><td>17</td><td>18</td></tr> </table>	年度	当初値	H17	H18	H19	人数	12	13	17	18
年度	当初値	H17	H18	H19										
人数	12	13	17	18										
地域間交流イベントの参加者数 (人)	人	169	77	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>当初値</td><td>H17</td><td>H18</td><td>H19</td></tr> <tr><th>人数</th><td>161</td><td>205</td><td>82</td><td>77</td></tr> </table>	年度	当初値	H17	H18	H19	人数	161	205	82	77
年度	当初値	H17	H18	H19										
人数	161	205	82	77										

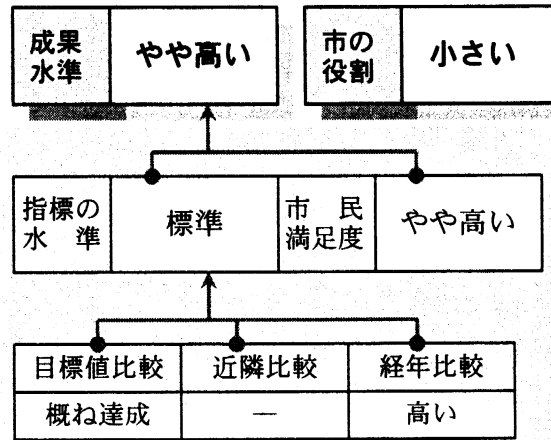
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
国際交流事業の推進	アンケート調査 「国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合(%)	%	調査は5年に1回実施するものであり、平成19年度は調査を実施しない年度であることから、目標値及び実績値の記載を省略しています。	
	盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)(人)	人	180	182
	盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)(人)	団体	14	18
地域間連携の推進	地域間連携・交流事業の数(人)	件	12	13



34 快適な情報ネットワークの実現

【取組内容と成果】

均衡ある情報通信基盤の整備のため、玉山区における携帯電話用鉄塔を整備して事業者に貸し出し不感地域の解消を進めたほか、光ファイバーやADSLなどのブロードバンド未提供地域における整備については通信事業者の整備を基本とするの方針から事業者とサービス区域拡大のための協議を行うなど、2010年までのブロードバンド・ゼロ地域解消のための事務を進めた。また、引き続き公民館等公共施設におけるインターネット公共端末の利用サービスを行ったほか、市民のオンライン上の情報交流の場としてこれまでサービスを行ってきた「デジタル・コミュニティ」をより利用しやすい「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」へと移行させた。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合 (％)	％	69.0	71.5	<p>実績値の年次推移</p>
アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合 (％)	％	46.0	45.1	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
情報通信機能の整備	アンケート調査「携帯電話を利用している」と答えた市民の割合 (％)	％	69.0	71.5
	アンケート調査「家庭でインターネットを利用している」と答えた市民の割合 (％)	％	46.0	45.1
市民満足度				

41 将来を担う次世代の育成

【取組内容と成果】

幼稚園・小中学校教育については、関係各課・機関が連携して充実に取り組んできた結果、全体的には、学力の向上がみられるとともに、不登校児童生徒の出現率も減少、体力運動能力も向上している。小中学校の学力については、各学校における指導の充実、家庭との連携の強化、教員研修の充実、研究指定校の指定、指導主事による学校訪問指導の充実等の取組により、成果指標4項目のうち、3項目で目標値を上回った。目標値を下回っている中学校数学についても、目標値との差は小さくなってきている。小中学校の不登校については、小中学校とも平成18年度の全国出現率を下回っている。(平成19年度はまだ公表されていない) 特に、中学校は中1ギャップ解消の取組等によりにより0.2ポイント

減少した。体力運動能力は、各学校における指導の充実、小学校体力向上研修会の実施等の取組により、小学校では96種目中40種目で、中学校は48種目中36種目で全国平均を上回っている。

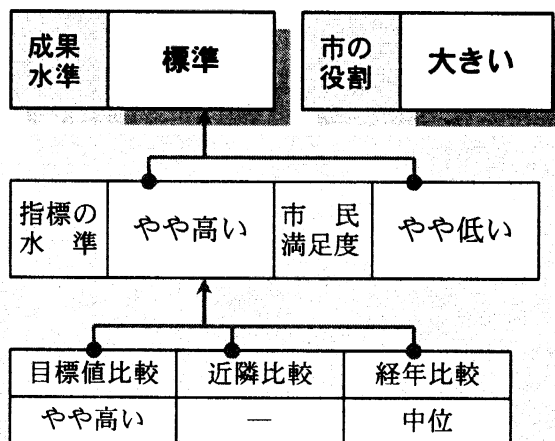
市立高校では、平成16年度から推薦入試、特別進学コースの設置等による教育改革に取り組んでおり、平成19年度末における成果指標は、平成16年度と比較して、進学・就職進路達成率は98.0%で4.94ポイント増、国公立大学合格者数は22名で16名増、新体力テストの全国水準との比較では男・0.24ポイント増、女・0.68ポイント減となった。入学目的の明確な生徒に対する意図的、計画的な指導の積み重ねとPTA、地域の支援により、目標値は概ね着実に達成されてきている。

教職員の指導力の向上については、学校教育課題について具体的、実践的な解決を図るため、教育研究を委託する研究指定校を指定するとともに、研究指定校の学校公開研究会への教職員の参加を奨励した結果、参加者が16年度の1,260人より1,706人増加して2,996人と約2.47倍になった。更に、教育研究所研究発表大会の参加者は約500名、教育研究所の公開講座の参加者は延べ674名であった。この他に、初任者研修、経験2年経過研修会、先人教育研修会、小学校体力向上研修会、養護教諭研修会を実施した。これらの取組が、学力の向上、不登校児童生徒の減少、体力の向上につながった。

学校施設については、黒石野中学校校舎3棟の耐震化を達成し、実績の向上を図ったほか、老朽施設改造事業も実施した。また平成18年度に成果指標を、耐震補強等工事未実施の校舎・屋内運動場のある学校数から耐震化率に変更したことにより、文部科学省への報告や公表と同一内容になり、市民に分かりやすくなった。

児童・青少年の健全育成については、玉山村との合併に伴い、平成17年度作成の「新青少年健全育成計画」の改訂を行なうとともに、本計画に基づき盛岡市が実施している青少年施策の概要の取りまとめを行った。

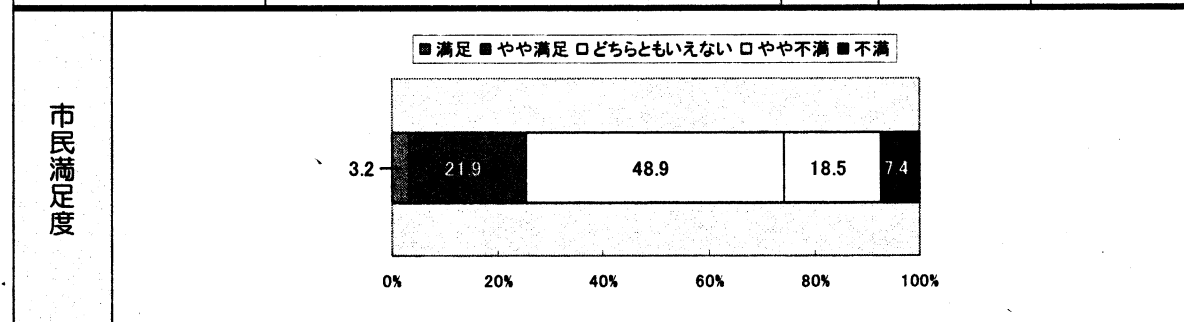
また、少年補導員を市民の皆様をお願いして地域で見守る取組をしており、補導件数が平成19年度は207件となり、平成16年度以降初めて目標値を達成した。補導件数は平成16年度の380件に対して平成19年度は207件であり大幅に減少している。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較(小学校・中学校)(ア)	小学4年 国語	108.0	110.2	実績値の年次推移
	小学4年 算数	106.0	107.8	
	中学2年 国語	107.0	108.0	
	中学2年 数学	101.0	98.2	

成果指標					
指標名	単位	H19目標	H19実績		
問題行動調査（不登校）の出現率（％）	小学校 中学校	ポイント	0.33 2.66	0.25 2.49	<p>実績値の年次推移</p>
体力運動能力（走・跳・投）の全国水準との比較（全国水準を上回っている種目の数）（小学校・中学校）（人）	小学校 中学校	種目	11種目 40種目	40種目 36種目	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
幼稚園・小中学校教育の充実	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較（小学校・中学校）（人）	ポイント	施策成果指標に同じ	施策成果指標に同じ
	問題行動調査（不登校）の出現率（％）	％	施策成果指標に同じ	施策成果指標に同じ
高等学校教育の充実	進学・就職進路達成率（人）	％	94.5	98.0
	国公立大合格者数（人）	人	20	22
	文科省新体カテストの全国水準との比較（得点平均値の差）（人）	ポイント	男+3.70 女+3.00	男+2.51 女+1.88
	不登校出現率（％）	％	1.2	1.3
教職員研修の充実	学校公開研究会参加者数（人）	人	1,590	2,966
	耐震化率（人）	％	56.6	57.2
学校施設の充実	耐震化が終了した小中学校数（人）	施設	25	25
	補導件数（人）	人	300	207
児童・青少年の健全育成	補導件数（人）	人	300	207
	刑法犯少年件数（人）	人	293	218

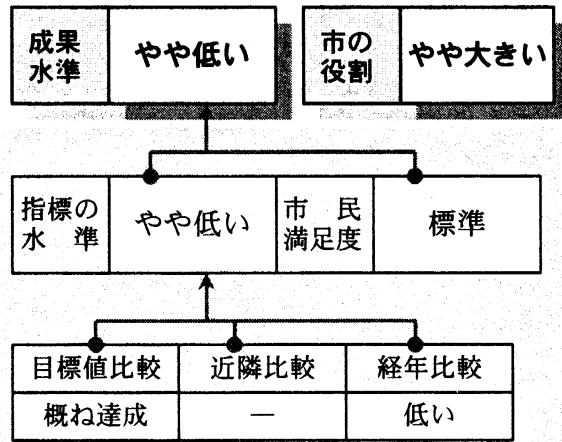


42 いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築

【取組内容と成果】

少子・高齢化や環境問題等現代的課題を見極めて、市民の学習ニーズを反映する多様な事業を展開した。また、HP、「学びのガイド」、「指導者ガイド」や公民館の講座案内の発行などにより学習情報の提供を行なうとともに、随時学習相談に応じた。

成果指標は、平成19年度末と18年度末を比較すると、5.4ポイント減少した。しかしながら、平成16年度末47.2%、17年度末43.7%、18年度末49.5%、19年度末44.1%と変動しており早計に結論を出すことはできないため、今後の動向を注視していきたい。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「最近何らかの学習をした」と答えた市民の割合(%)	%	53.0	44.1	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
生涯学習推進体制の充実	生涯学習指導者登録数(人)	人	596	655
	学習相談件数(件)	件	360	257
社会教育の充実	市の講座数(人)	講座	867	1,428
	講座受講者数(人)	人	106,010	110,181
社会教育施設の整備と活用	社会教育施設数(人)	施設	18	18
	施設利用者数(人)	人	1,150,000	1,109,033

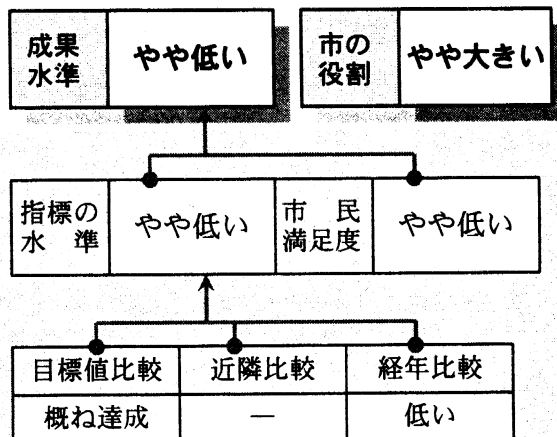
市民満足度	満足度の割合				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
	4.6	23.2	49.1	17.5	5.6

43 生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現

【取組内容と成果】

平成19年度は、指定管理者制度移行2年目となり、体育施設の各指定管理者は、スポーツ教室やスポーツ大会など積極的に自主事業を開催したことにより利用者が増えている。

また、3つの総合型地域スポーツクラブが設置され、2つのクラブが設立に向けて準備中であり、各クラブで積極的に教室等を開催している。

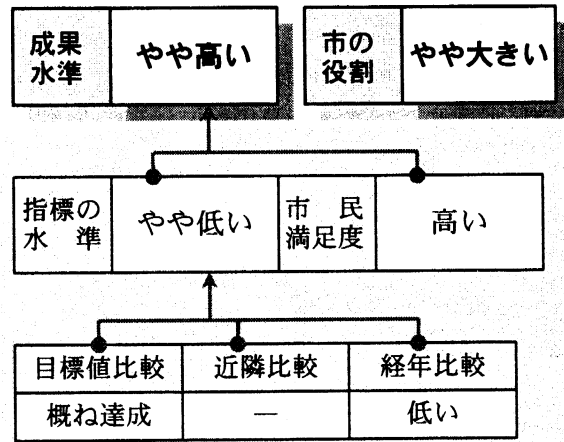


成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「最近何らかのスポーツ・レクリエーションをした」と答えた市民の割合(%)	%	58.0	50.6	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
スポーツ・レクリエーション活動の充実	市の事業数(件)	件	580	714
	事業参加者数(人)	人	145,000	182,823
スポーツ・レクリエーション施設の整備と活用	市の施設数(施設)	施設	32	32
	施設利用者数(人)	人	730,000	851,201
市民満足度				

44 豊かな心を育む芸術文化活動の支援

【取組内容と成果】

指定管理者による良好な維持管理のもと、会館の特性を生かした芸術鑑賞事業や文化会館活動事業を展開するとともに、共催や後援を通して市民の発表機会の支援に努め、市民の芸術文化活動への参加を促した。また、指定管理者の管理施設及び直営の姫神ホールとも施設修繕や設備機器の購入等を行い、会館の良好な維持管理に努めた。市民文化ホールでは他の区分所有者と連携を図り、マリオス中長期修繕計画を策定した。

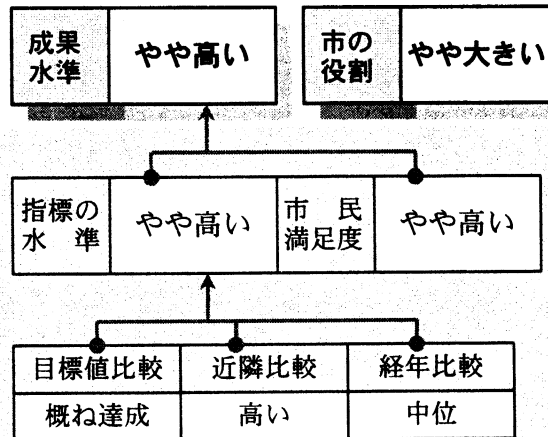


成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「最近何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合 (％)	％	47.0	42.3	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
芸術・文化活動の充実	芸術文化事業鑑賞者数 (人)	人	31,000	36,888
	文化会館活動事業参加者数 (人)	人	10,200	10,242
文化施設の整備と活用	文化会館平均利用率 (％)	％	75	71.2
	文化会館利用者数 (人)	人	393,000	419,921
市民満足度				

45 歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用

【取組内容と成果】

- ・歴史・文化資源の調査、活用、整備、保護等に努めるとともに、文化財に対する市民の理解を促した。
- ・太田・本宮地区に集中している博物館等5施設が、県立美術館と連携を図り、共同での展示会やイベント・情報発信等を行い、各施設の利用促進を図った。
- ・当市の歴史・文化を広く紹介することを目的とした盛岡城跡公園内に建設する「歴史文化施設」の実設計を行った。

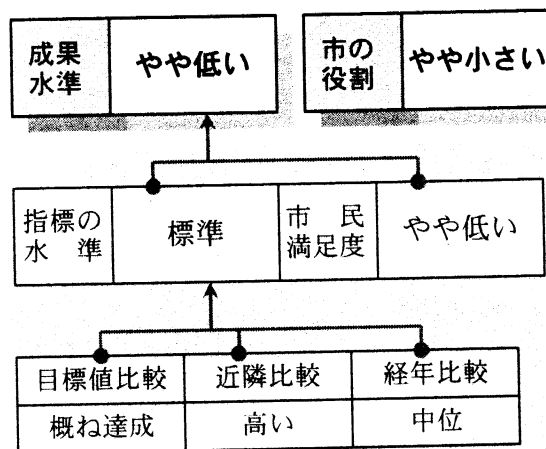


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
文化財数(国・県・市指定) (人)	件	252	257	<p>実績値の年次推移</p>
市保存建造物数(人)	件	24	23	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
歴史的文化遗产の保護と活用	文化財数(国・県・市指定)(人)	件	252	257
	市保存建造物数(人)	件	24	23
	歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(人)	件	2,305	2,707
博物館施設の整備と活用	博物館施設入館者数(人)	人	181,000	176,815
市民満足度	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>			

51 活力ある農林業の振興

【取組内容と成果】

- ①農地の利用集積や農業生産基盤の整備による経営の効率化と、認定農業者の育成や集落営農活動の促進による担い手の育成・確保
- ②減農薬栽培や地産地消の促進など、安全安心への消費者目線に立った農畜産物の生産による有利販売
- ③農業施設の整備と、地域一体となった農業施設管理への取り組みの促進による農村環境の保全・向上
- ④グリーンツーリズムや農林業体験イベントの開催による農林業の啓発と農山村地域の活性化
- ⑤食料と農業に関する知識の啓発による食育の推進
- ⑥特別栽培米などの生産促進による「売れる米作り」と、特色ある転作作物の導入による水田利用の高度化
- ⑦家畜排泄物の堆肥化による有機物資源の循環と、耕畜連携の促進
- ⑧市産材利用についての啓発と、市産材流通の仕組みづくりにむけた林業・木材産業の連携促進による地域林業の活性化



【成果】

生産農業所得は前年度を上回ったが目標値の90パーセントにとどまっている。林業純生産額は目標を大幅に超えている。

【要因】

- ・原油価格の上昇が続き、燃料・農業用資材・家畜飼料などの高騰から農畜産物の生産コストが増大し、再生産が難しくなりつつある。出荷価格へのコスト転嫁が難しいことが、農家の投資控えの一因ともなっており、担い手の不足や未利用農地の拡大など、厳しい状況が継続し、生産農業所得が伸びなかったものと考えられる。
- ・林業純生産額の伸びは、近年の合板原料としてのカラマツ材の需要増大が、市内の木材資源の利用に反映され、伐採・素材生産が活発に行われたことによるもので、特需的な要素が大きいと考えられるが、立木の取引価格が再生林に要する経費に見合ったものとなっていないことから、造林事業への再投資ができず、森林資源の保全上問題を残している。

成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H19目標	H19実績	
生産農業所得 (〆)	百万円	6,600	5,970	
林業純生産額 (〆)	百万円	232	890	
販売農家従事者数 (〆)	人	12,140	12,783	数値は5年に1回実施する調査で把握するものであるため、年次推移の記載を省略しています。

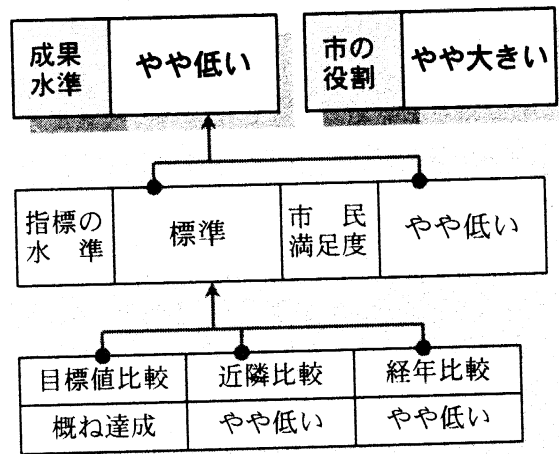
基本事業	成果指標													
	指標名	単位	H19目標	H19実績										
産業意欲と技術の向上	都市・農山村交流人口 (↑)	人	1,764,000	1,347,293										
	生産農業所得 (→)	百万円	6,600	5,970										
	林業純生産額 (→)	百万円	232	890										
産業基盤の整備	水田面積 (→)	ha	4,263	4,115 推計値										
	畑地面積 (→)	ha	1,989	1,886 推計値										
	樹園地面積 (→)	ha	527	509 推計値										
	民有林面積 (→)	ha	48,336	48,336 推計値										
市民満足度	<div style="text-align: center;"> 満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満 </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>満足</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>5.3</td> </tr> </table>				満足	1.3	やや満足	8.6	どちらともいえない	70.8	やや不満	14.0	不満	5.3
	満足	1.3												
やや満足	8.6													
どちらともいえない	70.8													
やや不満	14.0													
不満	5.3													

52 まちに活力を与える工業の振興

【取組内容と成果】

工業振興を図るため、①本市の産学官連携の拠点として研究開発を支援する盛岡市産学官連携研究センターの整備（H19. 8）②研究開発型企業の立地促進を図るための受け皿となる盛岡南新都市産業等用地の整備及び誘致宣伝（H19. 11）③実用化支援のための貸工場として盛岡市新事業創出支援センターの整備（H20. 3）④地場企業向けの団地である盛岡テクノパーク（四十四田企業団地）の整備支援及び入居企業の掘り起こし（H19.8）⑤玉山区への企業誘致に向けた新たな工業団地の整備に係る調査・

検討等、以上①～⑤まで積極的に事業展開した結果、市内には起業家支援としての「盛岡市産業支援センター」、研究開発支援としての「盛岡市産学官連携研究センター」、実用化支援としての「盛岡市新事業創出支援センター」の三つの産業支援施設が整備され、事業者それぞれの成長段階に応じた支援が可能となった。これにより、今後は産学官連携による新産業の創出等工業活性化が一層促進されるものと期待される。

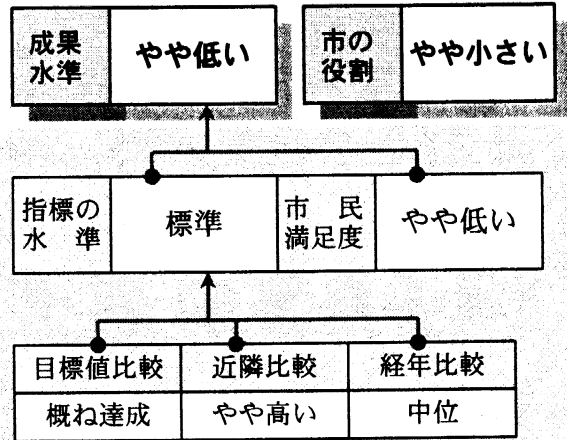


成果指標				H19実績値が未確定であるため年次推移は記載を省略しています。
指標名	単位	H19目標	H19実績	
製造品出荷額等（ノ）	千万円	26,300	—	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
産学官連携の強化	共同研究により製品化された新技術等累計件数（ノ）	件	26	28
工場集団化の推進	市内での企業団地移転社数（ノ）	社	1	4
起業家の支援	創業者数（累計：市産業支援センター、県産業振興センター、岩手大学など）（ノ）	人（社）	40	48
中小企業の経営力の強化	経営改善等研修会の参加者数（商工会議所、商工会など）（ノ）	人	700	1,042
市民満足度				
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p> <p>1.4 9.2 64.4 17.8 7.2</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>			

53 多様で活発な商業・サービス業の振興

【取組内容と成果】

商店街の賑わい創出のため、①商店街に魅力ある個店を増やす。②空き店舗をつくらない。③快適に買い物ができる環境をつくる。④個々の商店街が持つ特色を活かしたイベントを実施する。以上の4つの視点に立ち、個店魅力アップ事業や商店街空き店舗活用促進事業、商店街リフレッシュ事業、映画の街盛岡推進事業等を、市商店街連合会や盛岡まちづくり（株）等商工団体と連携しながら実施した。この取組みにより、来街者の増加と滞留時間の伸長による、小売業やサービス業の販売額増加に寄与できたものと考えられるが、景気の低迷や原油価格の高騰等の経済不安による個人消費の冷え込みにより、市全体の卸・小売の年間販売額は減少傾向にある。

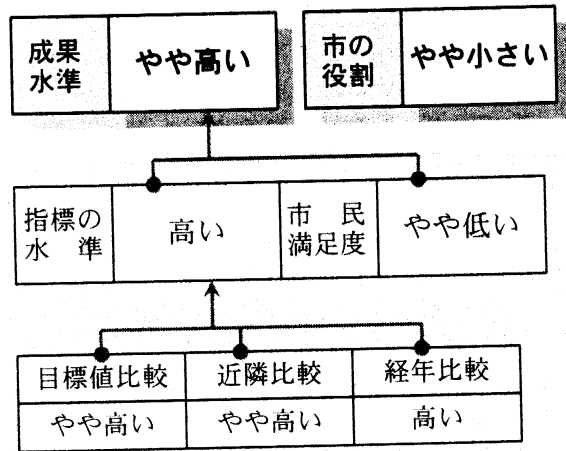


成果指標				実績値の年次推移		
指標名	単位	H19目標	H19実績			
卸・小売の年間販売額 (㊦)	億円	13,647	13,140			
サービス業の事業所数 (㊦)	事業所	4665	4786			
基本事業	成果指標					
	指標名	単位	H19目標	H19実績		
魅力ある商店街の形成支援	中心市街地の小売年間販売額 (㊦)	百万円	86,544	81,659		
物流ネットワークの充実	卸売・運輸・通信業数 (㊦)	事業所	1,627	1,613		
情報等、多様なサービス業の振興	サービス業の従業者数 (㊦)	人	44,600	50,364		
市民満足度						
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>					

54 地域資源をいかした観光・物産の振興

【取組内容と成果】

平成19年は、NHK朝の連続テレビ小説『どんど晴れ』の放映、北東北大型観光キャンペーンや盛岡さんさ踊り30周年記念事業、盛岡デーイン東京及び盛岡デーイン京都の実施により、観光客入込数は過去最高の473万人(前年比5.0%増)を記録した。これらテレビ放映や関連イベント等を通じ、盛岡の観光や特産品、文化・暮らしを総合的に首都圏をはじめ全国に情報発信できたほか、盛岡ブランド認証商品の販路拡大が図られるなど大きな成果を収めることができた。さらに、修学旅行説明会にも積極的に参加し、修学旅行生の誘客に努めた。



成果指標			
指標名	単位	H19目標	H19実績
観光客入込み数(人)	万人回	454	473

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
観光地づくりと観光客の誘致	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(%)	%	36	49
観光交流の推進	観光客入込み数(人)	万人回	453	473
魅力あふれる物産の振興	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(人)	百万円	37.0	51.4

市民満足度

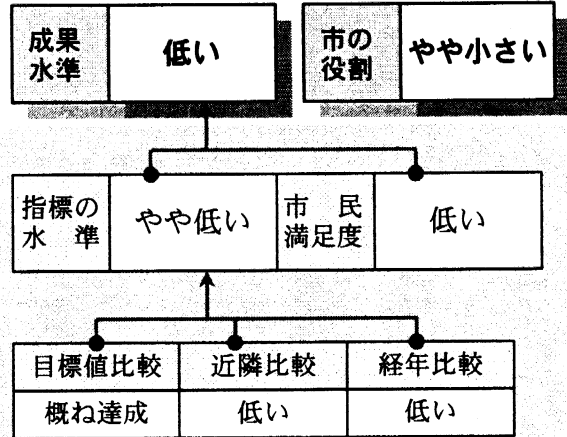
■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満

55 安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進

【取組内容と成果】

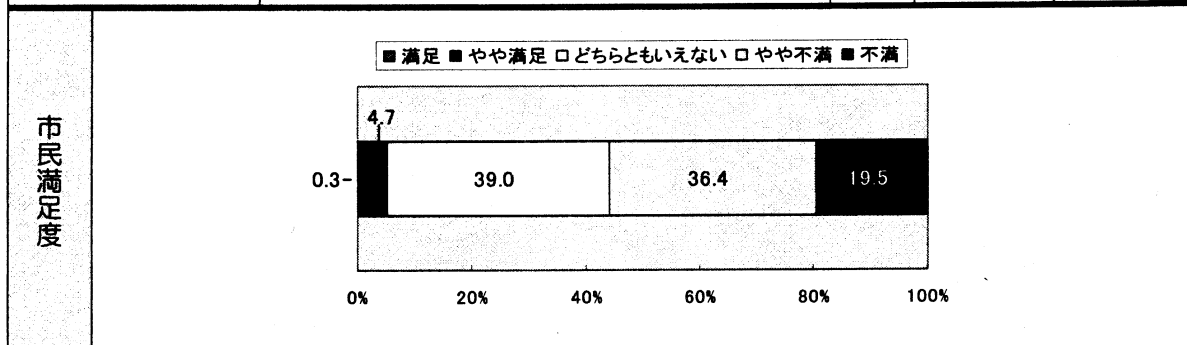
盛岡市雇用推進計画に基づき、市の特別枠予算による雇用対策事業のほか、スタートワーキングサポート事業、高校生インターンシップ事業、高校生スキルアップ事業の実施や、もりおか就職面接会やU・Iターンフェアを開催し、雇用創出に努めるとともに、高校生等を対象とした就職支援事業を行った。また、国や県と共同して若年者に対し就職相談や職業意識の啓発を行う「ジョブカフェいわて」の運営を行い、若年者の就職支援を行った。その結果、特に若年者の就職支援に一定の成果を収めることができた。

企業誘致活動については、7月のテルウェル東日本(株)をはじめ、アイシン・コムクルーズ(株)、東京コンピューターサービス(株)、ハイツ(株)、日本インフォメーション(株)の誘致を実現させ、今後これら企業の業容拡大に伴う雇用拡大が期待される。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
盛岡職業安定所管内の求人倍率(%)	%	0.75	0.68		
新たに雇用された人の数/職を求める人の数(人)	人	10,500/ 121,300	12,014/ 130,143		

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
企業の誘致	市外からの累積新規誘致企業数(社)	社	7	12
雇用対策の推進	盛岡職業安定所管内の求人倍率(%)	倍	0.75	0.68
勤労者福祉の充実	(財)盛岡市勤労者福祉サービスセンター会員数(人)	人	4,316	4,007



61 生活環境の保全

【取組内容と成果】

○公害関係

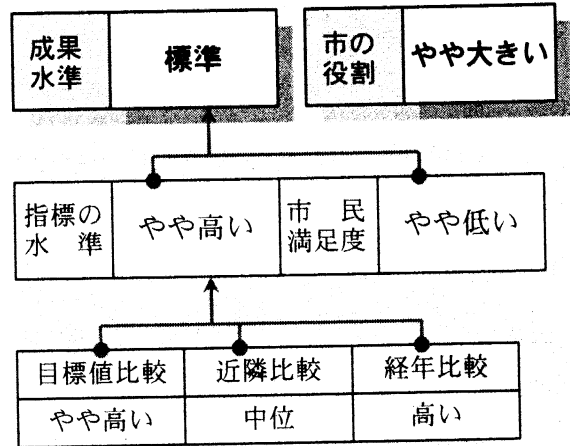
- ・大気、水質、騒音、振動等の測定・監視を行った。
- ・大気のうち光化学オキシダントは、近年、その濃度は上昇傾向であり、環境基準超過時間数は増加傾向にあることから、注意報発令時に対応するため、緊急体制を整備した。
- ・水質のうち、地下水の監視を強化するため、概況調査地点数を増やした。
- ・高速道路・新幹線騒音は、測定結果に基づき、各運営会社に対し、施設改善等の対策を要請した。
- ・公害苦情は、原因者に対し指導や改善の依頼を行い解決に努めているが、農家等が行う野焼き、ストーブの煙、エアコンやボイラの駆動音等、法令・条例で対応できない事例がほとんどである。

○一般廃棄物関係

- ・ごみの減量や分別の徹底のPR、人口の減等により、焼却量は全体量、盛岡地域等3地域別の量とも減少している。
- ・ごみ収集業務の民間委託は、収集車2台分を委託した。
- ・ごみ収集時間は、早期収集（概ね午後2時までクリーンセンターに搬入）を目指し、一部地域で実施した。
- ・タバコ等のポイ捨ては、キャンペーンや企業訪問数を増やす等により継続したPRを行った。ポイ捨ての定点観測所では、ポイ捨てごみの個数が減少している。
- ・不法投棄対策では、監視の強化を行った。通報件数、処理件数、未処理件数とも増加している。

○廃棄物処理施設関係

- ・廃棄物焼却場（クリーンセンター）は、ごみ焼却量、施設の稼働に伴う大気や騒音の測定状況等を公表し、住民との信頼関係の維持に努めた。平成17年10月17日以降、連続して達成している公害防止協定の排出基準値の遵守を今年度も達成した。



成果指標				実績値の年次推移
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合 (%)	%	46.0	53.8	
生活公害に関する苦情件数 (↓)	件	92	102	
焼却処理施設での年間処理量 (↓)	t	106,688	106,049	

基本事業	成果指標															
	指標名	単位	H19目標	H19実績												
環境衛生の確保	焼却処理施設での年間処理量 (↓)	t	106,688	106,049												
	資源ごみ処理施設での年間処理量 (↑)	t	12,894	13,741												
	粗大ごみ処理施設での年間処理量 (↓)	t	9,983	8,541												
	生活公害に関する苦情件数 (↓)	件	92	102												
	市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園基地数)(↑)	%	93.0	93.5												
公害の防止	大気の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(↑)	%	98.0	94.0												
	水質の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(↑)	%	96.0	96.7												
	騒音の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(↑)	%	73.0	85.6												
	振動の定点観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(→)	%	100.0	100.0												
	臭気の観測環境基準適合率(適合地点数/観測地点数)(→)	%	100.0	測定なし												
市民満足度	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p> <table border="1"> <caption>市民満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>56.1</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>				満足度	割合	満足	16.8	やや満足	56.1	どちらともいえない	19.7	やや不満	5.8	不満	1.6
満足度	割合															
満足	16.8															
やや満足	56.1															
どちらともいえない	19.7															
やや不満	5.8															
不満	1.6															

62 かけがえのない自然との共生

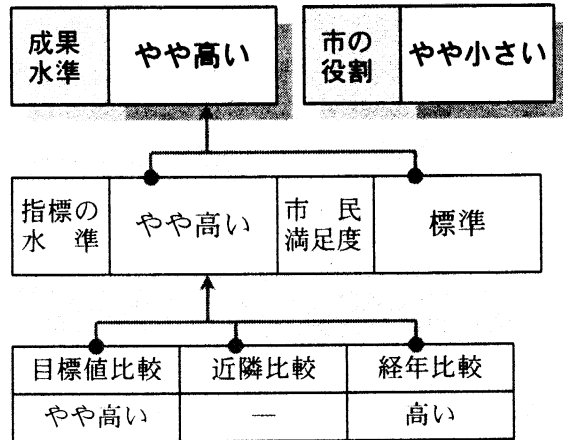
【取組内容と成果】

○自然資源の活用関係

- ・環境保護地区、保護庭園、保存樹木、近郊自然歩道、登山道の安全確保・自然環境保全のため、巡視、標識の修繕等を行った。
- ・開発や土地改変に伴う指導・提言を行った。

○自然保護関係

- ・平成18年度から23年度の期間で行っている玉山区の自然環境調査を玉山区下田地区で行った。
- ・鳥獣保護区、禁猟区、休猟区等の指定に向けた事前調査資料の作成を行った。
- ・カラスやカルガモ等の有害鳥獣の捕獲許可や市街地に進出したニホンジカ等の野生動物の捕獲等の対応を行った。



成果指標			
指標名	単位	H19目標	H19実績
アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合（％）	％	55.0	54.7

年度	実績値
H17	50.8
H18	51.8
H19	54.7

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
自然資源の活用	近郊自然歩道設置総延長（km）	km	46	46
自然の保護	市域における山林・農地等の面積（ha）	ha	35,702.0	36,249.3

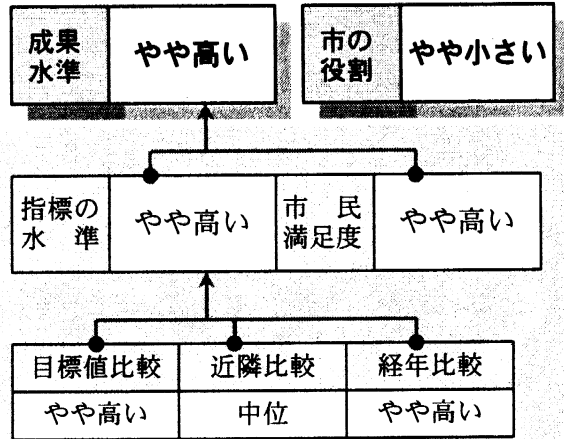
■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満

市民満足度

63 地球環境への貢献

【取組内容と成果】

- ・市域の環境の状況や市が実施した環境施策の状況等を取りまとめた年次報告書（もりおかの環境）を作成し、公表した。
- ・市役所が「事業者—消費者としての環境負荷低減に向けた取組状況等を取りまとめた年次報告書」を作成し、公表した。また、取組強化のためのツールであるIES（岩手環境マネジメントシステム・スタンダード）について、運用部署の拡大を行った。
- ・省エネルギー、ごみ分別等の各種啓発事業を行ったほか、新たに地球温暖化防止講演会を3回開催した。



- ・廃蛍光管の拠点回収等の方針を決定し、平成20年10月から拠点回収のための準備を行った。
- ・マイバッグ持参運動を展開したほか、レジ袋使用量削減協力店制度を創設した。
- ・不動産管理会社や事業所、大学等へのごみ減量、分別の指導を行った。
- ・市立保育園2園に、ペレットストーブ2台を導入した。

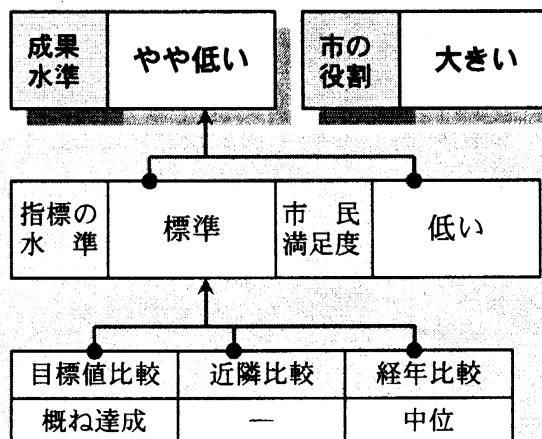
成果指標				実績値の年次推移								
指標名	単位	H19目標	H19実績									
アンケート調査「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合（％）	％	48.0	40.4	<table border="1"> <caption>実績値の年次推移 (アンケート調査)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>H17</td><td>43.9</td></tr> <tr><td>H18</td><td>45.8</td></tr> <tr><td>H19</td><td>40.4</td></tr> </table>	年	値	H17	43.9	H18	45.8	H19	40.4
年	値											
H17	43.9											
H18	45.8											
H19	40.4											
一般廃棄物の1人1日あたりの排出量（g）	g	1,125	1,120	<table border="1"> <caption>実績値の年次推移 (一般廃棄物)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>H17</td><td>1,156</td></tr> <tr><td>H18</td><td>1,145</td></tr> <tr><td>H19</td><td>1,120</td></tr> </table>	年	値	H17	1,156	H18	1,145	H19	1,120
年	値											
H17	1,156											
H18	1,145											
H19	1,120											
最終処分場での年間処理量（t）	t	16,970	15,705	<table border="1"> <caption>実績値の年次推移 (最終処分場)</caption> <tr><th>年</th><th>値</th></tr> <tr><td>H17</td><td>18,072</td></tr> <tr><td>H18</td><td>16,739</td></tr> <tr><td>H19</td><td>15,705</td></tr> </table>	年	値	H17	18,072	H18	16,739	H19	15,705
年	値											
H17	18,072											
H18	16,739											
H19	15,705											

基本事業	成果指標															
	指標名	単位	H19目標	H19実績												
環境を大切にする心の育成	アンケート調査「CO2の発生抑制のため、省エネルギーを常に心がけている」と答えた市民の割合（％）	％	44.0	40.4												
廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用	家庭系一般廃棄物の1人1日あたりの排出量（g）	g	660	664												
	事業系一般廃棄物の年間排出量（t）	t	51,314	49,770												
	リサイクル率（％）	％	16.2	16.7												
エネルギーの有効利用	市民一人あたりのCO2排出量増加率（％）	％	0.0	未確定												
	新エネルギー導入件数（件）	件	16	16												
市民満足度	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p> <table border="1"> <caption>市民満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>36.6</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>16.2</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>5.1</td> </tr> </tbody> </table>				満足度	割合	満足	36.8	やや満足	36.6	どちらともいえない	16.2	やや不満	5.1	不満	5.1
満足度	割合															
満足	36.8															
やや満足	36.6															
どちらともいえない	16.2															
やや不満	5.1															
不満	5.1															

71 適正な土地利用計画の推進

【取組内容と成果】

- 平成22年を目途としている市街化区域及び市街化調整区域の見直しについて、平成17、18年に実施した都市計画基礎調査を踏まえ現状分析を行うと共に、県及び矢巾町、滝沢村と見直しの方針等について協議を行った。
- 地域地区については大沢川原の沿道用途の見直し、地区計画については武道地区の見直しの検討や住民合意形成を行った。
- 開発許可における立地基準や技術基準について見直しを行い20年4月1日から施行した。
- 都市計画法の改正等を踏まえ開発許可制度見直しのため『開発許可制度見直し懇話会』を設置し、制度見直しの提言をいただいた。
- 地籍調査については、完了まで長期間見込まれるため組織体制の強化を行った。

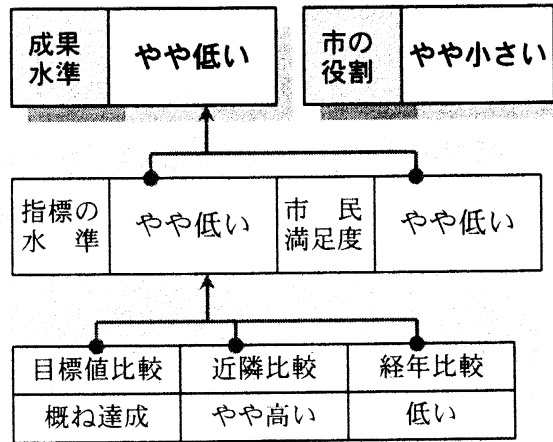


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
市域における都市計画区域の割合(→)	%	50.3	50.3	
市域における農用地区域の割合(→)	%	8.0	8.0	
市域における森林区域の割合(→)	%	73.4	73.4	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
土地利用に関する計画の策定・見直し	市域における都市計画区域の割合(→)	%	50.3	50.3
	市域における農用地区域の割合(→)	%	8.0	8.0
	市域における森林区域の割合(→)	%	73.4	73.4
土地利用の管理・指導	上記基本事業「土地利用に関する計画の策定・見直し」の成果指標と同じ	—	—	—
市民満足度				
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p> <p>0.9 7.6 59.4 21.6 10.4</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>			

72 魅力ある都市景観の形成

【取組内容と成果】

- ・都市景観形成建築等指導要綱に基づき建築物等の景観に対する指導を行い、盛岡らしい景観形成に努めた。
- ・都市景観賞の実施や受賞した建築物等のパネル展、見学会等を開催し都市景観に対する啓発活動を行った。
- ・20年度策定予定の景観計画のための調査を実施し、計画の内容及び関連する条例等について検討を行った。
- ・中核市移行に伴い県から移譲される屋外広告物に関する事務について条例の制定や広報等による市民への周知を図るなど20年度からの事務の開始に向けての準備を行った。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「誇れる景観があると思う」と答えた市民割合(→)	%	79.3	78.0	

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
景観対策の充実	景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数(累計)(?)	件		現在、基本事業に張り付く事務事業がないことから、評価を実施していません。
景観形成の誘導	景観地区並びに準景観地区の指定件数(累計)(?)	件		平成19~20年で景観計画の策定中であり、成果指標実績値は、計画策定後に把握することになります。

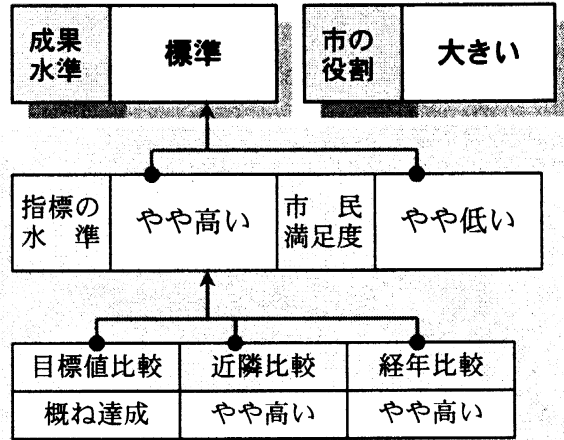
市民満足度

73 快適な居住環境の実現

【取組内容と成果】

生活道路環境の向上については、市道は市民の日常生活を支える上で重要な社会資本であるとの観点から、道路パトロールの実施等により緊急性、重要性、地域性等を十分考慮しながら道路の維持管理に努めると共に、各種事業を実施した。なお、除排雪事業は、5億1千万円余りの事業費となり、暖冬小雪であった前年度に比べ約1億6千5百万円増加した。また市民からの要望・苦情件数は前年度の約1.7倍の850件程度であったが、シーズン始めの12月から1月の降雪量が比較的多かったことに起因すると思われる。良好な住宅地の誘導については、平成19年度は「耐震強度偽装問題」に係る再

発防止策の建築確認・検査の厳格化を柱とした建築基準法の改正法が19年6月に施行され、新たな制度への対応等に係る混乱が生じるなどの要因もあって、新設住宅着工戸数等の減少に大きく影響した。また7月には新潟中越沖地震の発生による建築物等の倒壊などの被害があったが、当市においても耐震改修促進法に基づく「盛岡市耐震改修促進計画」を策定し、20年2月に公表を行ったところである。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「快適な居住環境である」と答えた市民の割合(%)	%	47.6	47.5	
市道舗装率(%)	%	82	81.6	

実績値の年次推移

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
生活道路環境の向上	市道改良率(%)	%	71.6	72.9
	市道除雪率(%)	%	65.0	67.0
良好な住宅地の誘導	市街化区域内における未利用地面積(㍍)	ha	10.3	10.4

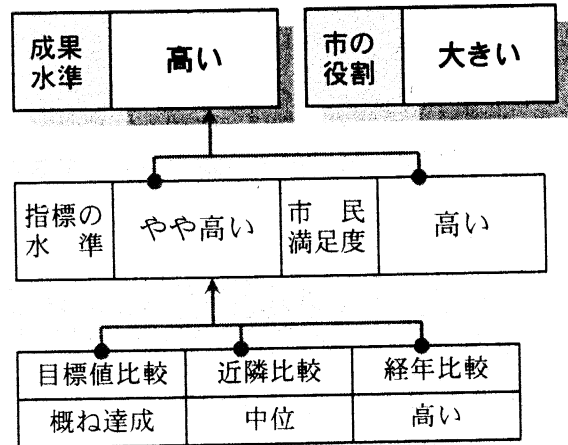
市民満足度

■ 満足 ■ やや満足 □ どちらともいえない □ やや不満 ■ 不満

74 うるおいのある公園・街路樹の確保

【取組内容と成果】

- ・お城を中心としたまちづくり計画を19,20年度で策定する予定であり、19年度は現状における課題等を整理し今後の街づくりの将来像を立案した。
- ・花と緑のガーデン都市づくりで実施しているハンギングバスケットは620個となり、公共空間においては日本一の数を達成すると共に、市民、事業者、行政の協働により花と緑のまちづくりに取り組んだ。
- ・公園の安全確保については、16年度から5カ年計画で遊具の安全対策事業に取り組んでおり、遊具の修繕や移設等計画的に実施し安全を確保した。
- ・公園整備については、中央公園、高松公園等について段階的に整備を行うと共に、街区公園等については整備により順次開設し市民が快適に公園利用ができるようになった。

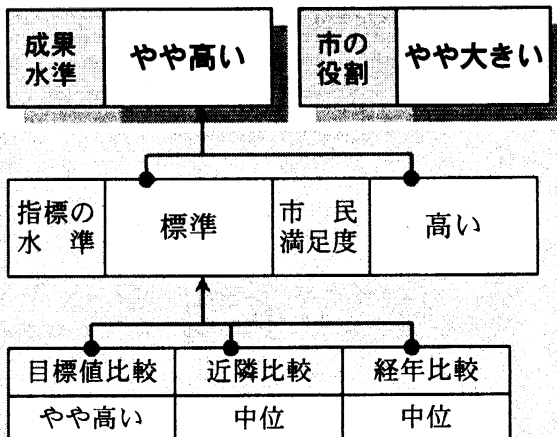


成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合 (%)	%	80.0	76.3		
1人あたりの公園等面積 (㎡)	㎡/人	10.3	10.4		
街路樹のある道路延長 (km)	km	95.0	87.2		
基本事業	成果指標				
	指標名	単位	H19目標	H19実績	
スペースの確保	1人当たりの公園等面積 (㎡)	㎡/人	10.3	10.4	
	公園数 (ヶ)	箇所	431	432	
公共空間の緑化推進	街路樹のある道路延長 (km)	km	95.0	87.2	
	公的緑化推進制度の利用件数 (ヶ)	件	250	253	
私的空間の緑化推進	私的緑化推進制度の利用件数 (ヶ)	件	150	119	
市民満足度					
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>				

75 いつでも信頼される上水道事業の推進

【取組内容と成果】

盛岡市が抱えている地理的な条件の中で、山間部や標高が高い地域への給水は費用対効果の点と維持管理の面で困難が伴うが、未給水地域の住民の給水要望を踏まえ、着実に未給水の解消に努力を続けている。この結果、伸び率は小さいものの着実に普及率が向上している。また水道はライフラインとして、震災時においても安定した給水をしつづけることが求められ、本市においてはH5年から耐震管の使用を開始し、以来震度7にも対応可能な管路の割合である耐震化率は着実に増加してきている。

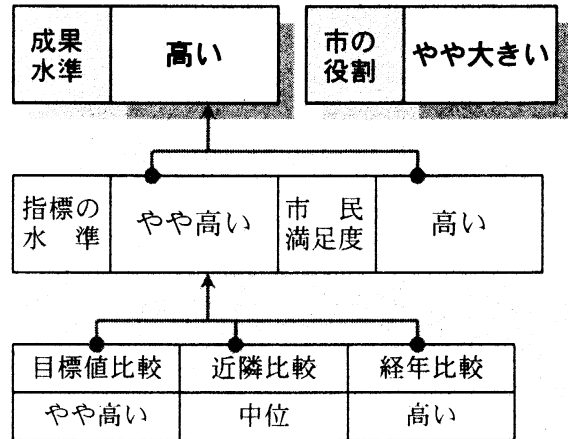


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
上水道普及率 (ア)	%	98.4	97.4	<p>実績値の年次推移</p>
水道管耐震化率 (ア)	%	19.0	18.5	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
安定給水の確保	有効率 (ア)	%	93.2	92.8
	耐震化率 (ア)	%	19.0	18.5
	残留塩素 (イ)	mg/l	1以下	0.5
給水サービスの向上	公道内鉛製給水管解消率 (ア)	%	44.7	41.7
経営の効率化	総資本利益率 (ア)	%	0.30	0.47
	自己資本構成比率 (ア)	%	56.0	57.97
市民満足度				

76 健全な水環境・良好な水環境の創出

【取組内容と成果】

施設整備に関しては、事業効果、緊急度等を勘案しながら整備を行ったことにより、汚水処理人口普及率、雨水施設整備率とも目標を越える成果を得た。また、経費全般の削減、使用料の適正な賦課等に努めたことにより、使用料回収率についても目標を超える成果が得られた。

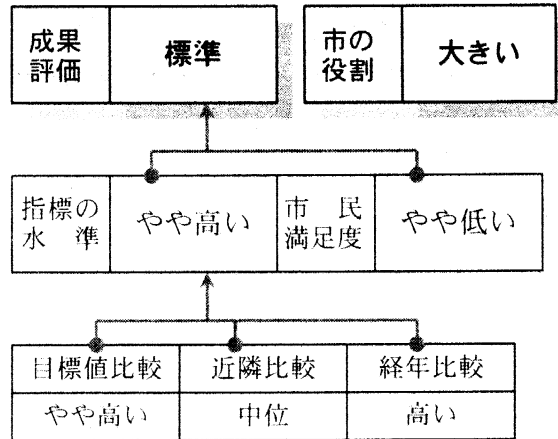


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）（％）	％	92.3	92.6	<p>実績値の年次推移</p>
下水道雨水施設整備率（整備面積／雨水認可面積）（％）	％	58.4	58.8	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
汚水処理の充実	汚水処理人口普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）（％）	％	92.3	92.6
雨水浸水対策の推進	下水道雨水施設整備率（整備面積／雨水認可面積）（％）	％	58.4	58.8
下水道事業の健全経営	回収率（使用料単価／処理原価）（％）	％	79.2	82.8
市民満足度				

77 にぎわいのある市街地の形成

【取組内容と成果】

- 健全な市街地形成を図るための区画整理事業については、盛岡駅西口地区、太田地区等公共施行5地区について商業地や住宅地の整備を進め良好な市街地の形成を図った。
- 保留地処分については地下の下落傾向等厳しい状況の中一部の保留地について処分を行った。
- 盛岡南都市土地区画整理事業については、国直轄事業による盛岡西バイパスの早期整備に向け国土交通省に要望すると共に、岩手河川国道事務所等関係機関と構造変更等について検討を行い具体的整備の方向性について協議を行った。
- 再開発事業については17年度から進めてきた肴町3番地区優良建築物整備事業が完了し中心市街地活性化に寄与した。

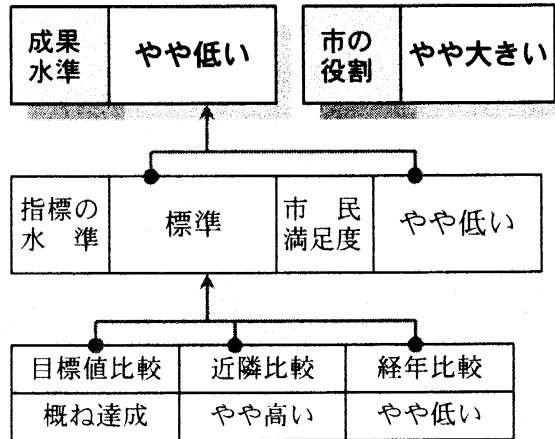


成果指標					実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績			
土地区画整理事業施行地区内人口(人)	%	17,087	17,945			
商業地域面積利用率(利用済商業地域面積/商業地域面積)(%)	%	73.7	80.8			
既成市街地に整備された拠点施設数(累計)(棟)	棟	8	8			
基本事業	成果指標					
	指標名	単位	H19目標	H19実績		
既成市街地の再整備	浅岸・太田・都南中央第三地区の市街化率(施行地区内人口/施行地区内の計画人口)(%)	%	60.8	60.5		
	整備された累計拠点施設数(人)	棟	8	8		
都心を担う新市街地の整備	西口・盛南地区の市街化率(施行地区内人口/施行地区内の計画人口)(%)	%	45.0	45.7		
	商業地域面積利用率(利用済商業地域面積/商業地域面積)(%)	%	74.1	73.7		
市民満足度						

78 都市活動を支える交通環境の構築

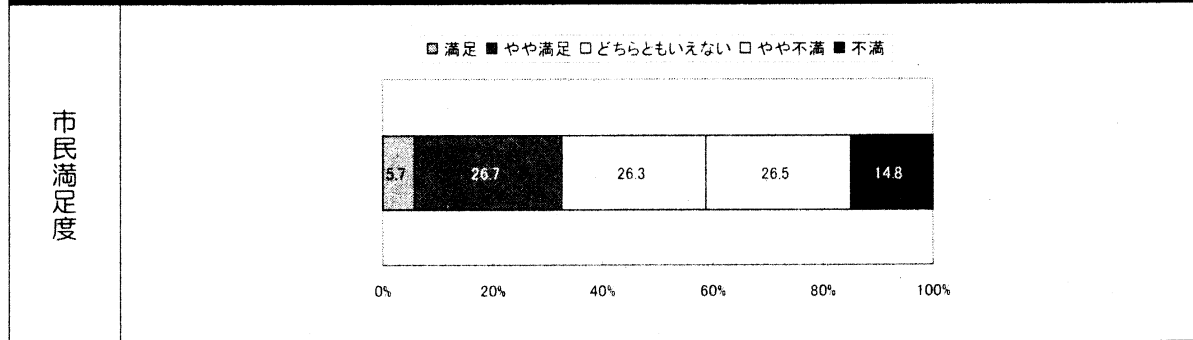
【取組内容と成果】

平成19年度は、バス交通・自転車交通への転換施策や道路整備等を実施し、道路混雑度において改善が図られた。改善の要因としては、市民の自動車からの転換意識と効果的な道路整備による交通分散が図られたものと考ええる。



成果指標				実績値の年次推移	
指標名	単位	H19目標	H19実績		
平日の主要幹線道路の混雑度 (ㇿ)	%	1.15	1.15		
無違反の歩行者・自転車が事故に遭った件数 (ㇿ)	件	414	862		
交通の手段分担率の変化 自動車 (ㇿ) バス (ㇿ) 鉄道 (ㇿ) 徒歩、自転車等 (ㇿ)	%	50.8 7.4 3.3 38.5	50.8 7.4 3.3 38.5	調査周期の都合から、把握しているデータがH12実績値及びH19実績値のみであるため、年次推移の記載を省略しています。	
1日当りバス・鉄道利用者数 (ㇿ)	人	69,600	66,595		

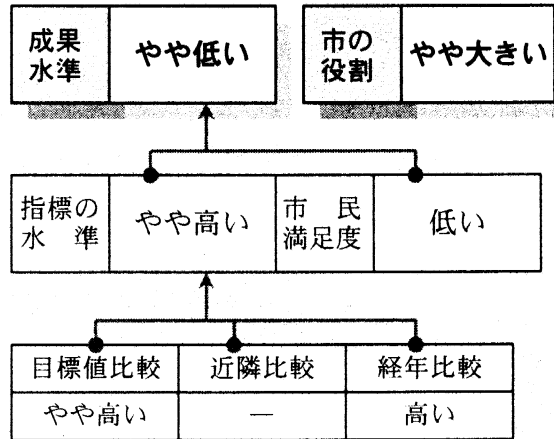
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
総合交通体系の確立	アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合（％）	％	33.9	35.8
公共交通機関の利便性向上と利用促進	1日当たりバス利用者数（人）	人	37,800	35,200
	1日当たり鉄道利用者数（人）	人	31,800	31,400
自転車、歩行者のための交通環境の構築	アンケート調査「自転車で快適に移動できる」と思う市民の割合（％）	％	34.4	31.2
	歩道設置延長（m）	m	380	445
幹線道路の整備	幹線道路改良率（％）	％	55.7	56.0



81 健全な財政運営の実現

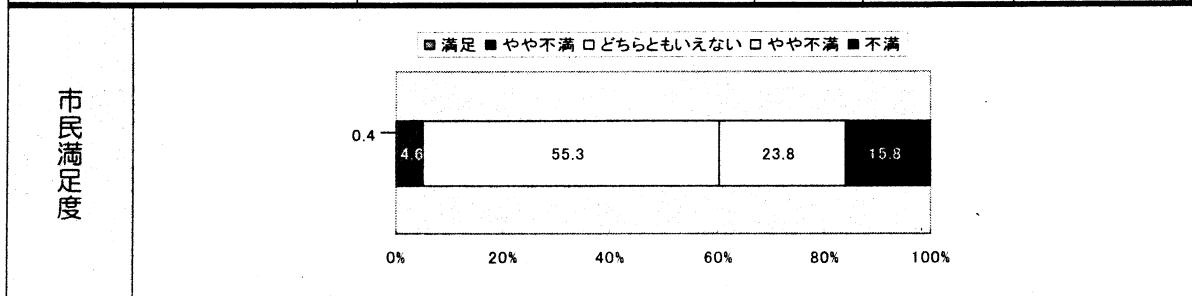
【取組内容と成果】

- ①市税(国保税を除く)については適正賦課に努めるとともに、収納率については、目標値の設定による職員の意識改革、組織体制の強化等により三年連続で収納率の向上を実現した。
- ②予算編成については、引き続き行政評価と総合計画の連動による施策別配分方式により実施した。市債の割合については、行財政構造改革の方針に基づき8%以内かつ元金償還額以内とした。
- ③公有財産については、財産台帳の整備を推進するとともに、未利用市有地の売却に努めた。



成果指標				H19実績値が未確定であるため年次推移は記載を省略しています。
指標名	単位	H19目標	H19実績	
経常収支比率 (＼)	%	91.9	未確定	H19実績値が未確定であるため年次推移は記載を省略しています。
公債費比率 (＼)	%	18.7	未確定	
市税の収納率 (ノ)	%	92.59	93.02	<p>実績値の年次推移</p>

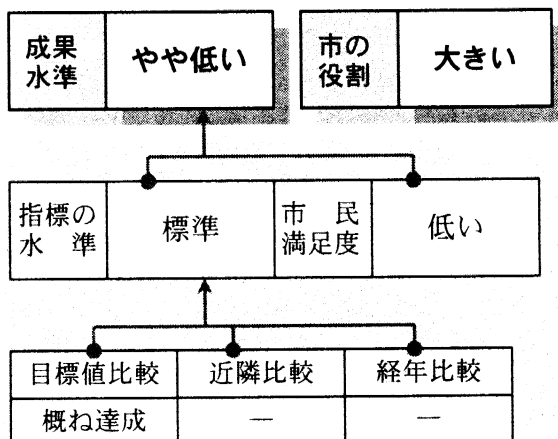
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
賦課の適正化と収納率の向上	一般会計市税収納率 (ノ)	%	92.59	93.02
健全な財政運営	市債発行額 (市債依存度) (＼)	千円 (%)	7,136,400 (7.6)	7,455,400 (7.6)
	自主財源比率 (ノ)	%	53.2	54.8
公有財産の適正管理	財産台帳整備面積率 (財産台帳整備面積/行政財産の土地面積) (→)	%	100.0	100.0
公有財産の有効利用促進	未利用市有地面積 (都市計画事業代替地除く) (＼)	m ²	150000.0	109912.7
	有効的に活用されていない建物 (＼)	件	1	2



82 計画的で効率的な行政運営の推進

【取組内容と成果】

平成19年度からスタートした「第二次行財政改革の方針及び実施計画」は、平成19年度の目標達成率は89%とほぼ達成している。本施策の成果指標は、総合計画実施計画で3年間（今回は平成17年度～19年度）で計画した事業の着手率としているが、財政見通しとの整合を図りながら、実施計画を策定していることから、ほぼ目標通りの達成率となっている。



成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	あらたに設定した指標であるため年次推移は記載を省略しています。
総合計画実施計画の事業着手率(→)	%	100.0	99.3	
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
計画行政の推進	総合計画実施計画の達成率(事業費ベース)(→)	%	100	99.8
行政改革の推進	各年度ごとの計画に対する達成率(=各年度ごとの達成項目÷各年度ごとの取組)(%)	%	100	89
	計画期間全体に対する達成率(=計画期間中の達成項目÷計画期間中の取組)(%)	%	—	48
議会活動の支援	円滑で効率的な運営ができた議会の割合(→)	%	100	100
公正な行政事務の確保	行政訴訟件数(↘)	件	1	0
	選挙争訟件数(→)	件	0	0
市民満足度				
	<p>■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満</p>			

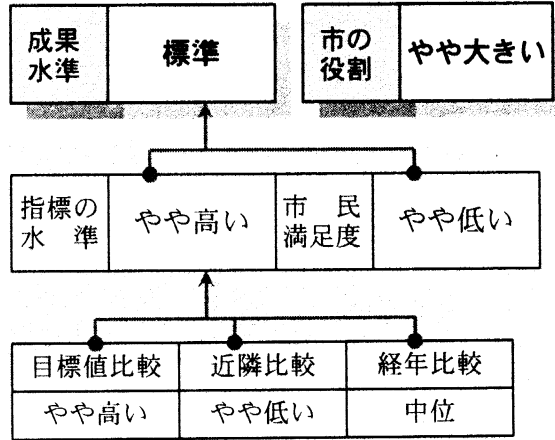
83 市民とともに作る行政の実現

【取組内容と成果】

市民参画事業「協働事業」の実施数は増加しており、範囲も広まってきている。

開示請求及び行政情報の提供は大幅に伸びているが、市民意見が市政に反映されていると答えた市民の割合は増加していない。

パブリックコメントを求めた件数は18年度に比べ減少しているが、1件当たりの意見数は増加している。



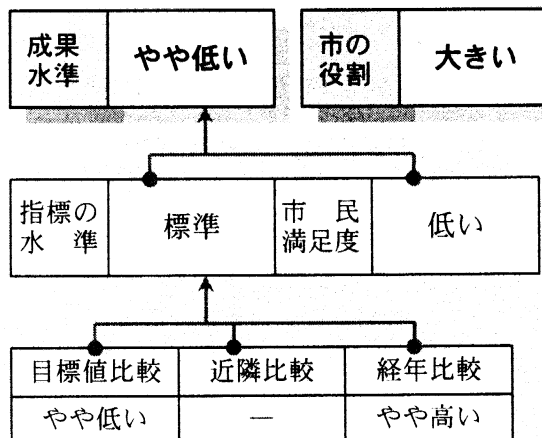
成果指標				実績値の年次推移		
指標名	単位	H19目標	H19実績			
市民参加を推し進めている累計事業数(ノ)	事業	31	28			
パブリックコメントに寄せられた1件あたりの意見数(ノ)	件	11	13.7			
基本事業	成果指標					
	指標名	単位	H19目標	H19実績		
分かりやすい行政情報の提供	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)(ノ)	件	1,400	2,430		
広聴広報機能の充実	アンケート調査「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合(ノ)	%	40.0	29.8		
市民参加の促進	協働事業の件数(ノ)	件	106	188		
市民満足度						

84 市民の負託に応える組織の構築・人材の育成

【取組内容と成果】

「人を活かす人事システム」に基づくキャリア開発研修を新たに実施したほか、ユニバーサルデザインやおもてなし度アップをテーマとした特別研修を実施するなど、研修受講機会の拡大を図った。

中核市移行に伴い、移譲事務を担当する職員の配置が必要となったが、組織機構の見直し及び事務事業の効率化を図りながら、定員の増加を招かないよう努めた。

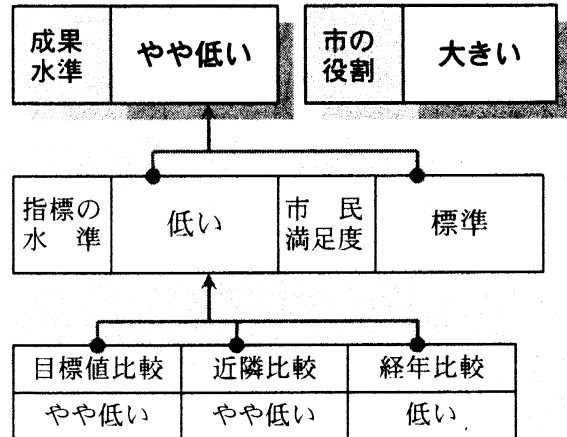


成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	あらたに設定した指標であるため年次推移は記載を省略しています。
アンケート「市の職員は責任を持って仕事をしている」と答えた市民の割合(%)	%	91.0	49.8	
職員1人あたりの人口(普通会計)(人)	人	160	157	実績値の年次推移
基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
職員人材開発の充実	研修参加率(%)	%	66.0	79.3
組織・人事の適正化	職員1人当たりの人口(普通会計)(人)	人	160	157
市民満足度	■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満			

85 より便利な行政サービスの構築

【取組内容と成果】

- ・住民異動届をより快適に行ってもらうために大型の記載台を導入したり、記載台の周辺に簡潔な記入例等の案内を設置することで市民サービスの向上に努めた。また、繁忙期においては住民異動手続きに関する案内図を作成し、前もって市民の方々に周知することで迅速かつ適切な処理を行えるよう努めた。しかしながら、成果指標のアンケート調査の結果では、目標値を下回っている。また、仙台市と比較しても低い率となっている。
- ・申請・届出のオンライン化については、目標



25.0%に対して実績値は4%と、目標値を大きく下回っている。

成果指標				
指標名	単位	H19目標	H19実績	
アンケート調査「窓口サービスの接遇が気持ちよく、待ち時間も適切である」(接遇・対応)と答えた市民の割合(%)	%	65.0	55.0	
アンケート調査「窓口サービスが利用しやすく便利である」(制度や仕組み)と答えた市民の割合(%)	%	60.0	48.4	

実績値の年次推移

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
窓口業務の適正化	アンケート調査「窓口サービスの接遇が気持ちよく、待ち時間も適切である(接遇・対応)」と答えた市民の割合(%)	%	65.0	55.0
	アンケート調査「窓口サービスが利用しやすく便利である(制度や仕組み)」と答えた市民の割合(%)	%	60.0	48.4
電子市役所の構築	Webでダウンロード可能な申請書等の率(%)	%	57.0	60.1
	申請・届出のオンライン化率(%)	%	25.0	4.0

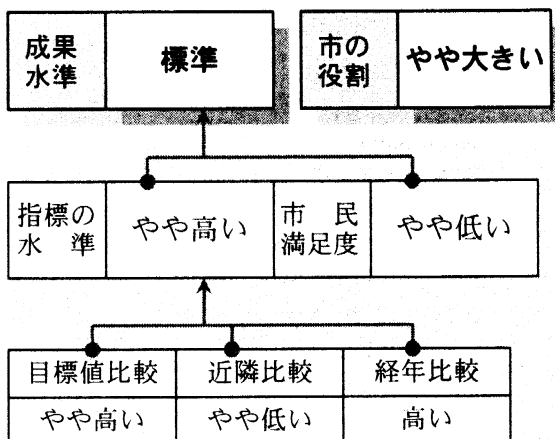
市民満足度

86 自治の確立を目指す取組みの強化

【取組内容と成果】

平成19年度においても、新たに県から移譲された事務があることから、権限移譲が進んでいる。平成19年度から3か年で県の制度を活用し、「権限移譲モデル市町村事業」に取り組んでいる。

広域行政の推進については、盛岡広域8市町村による協議を行い、平成20年5月に盛岡広域市町村首長懇談会が設立されており、共通課題等に取り組まれている。



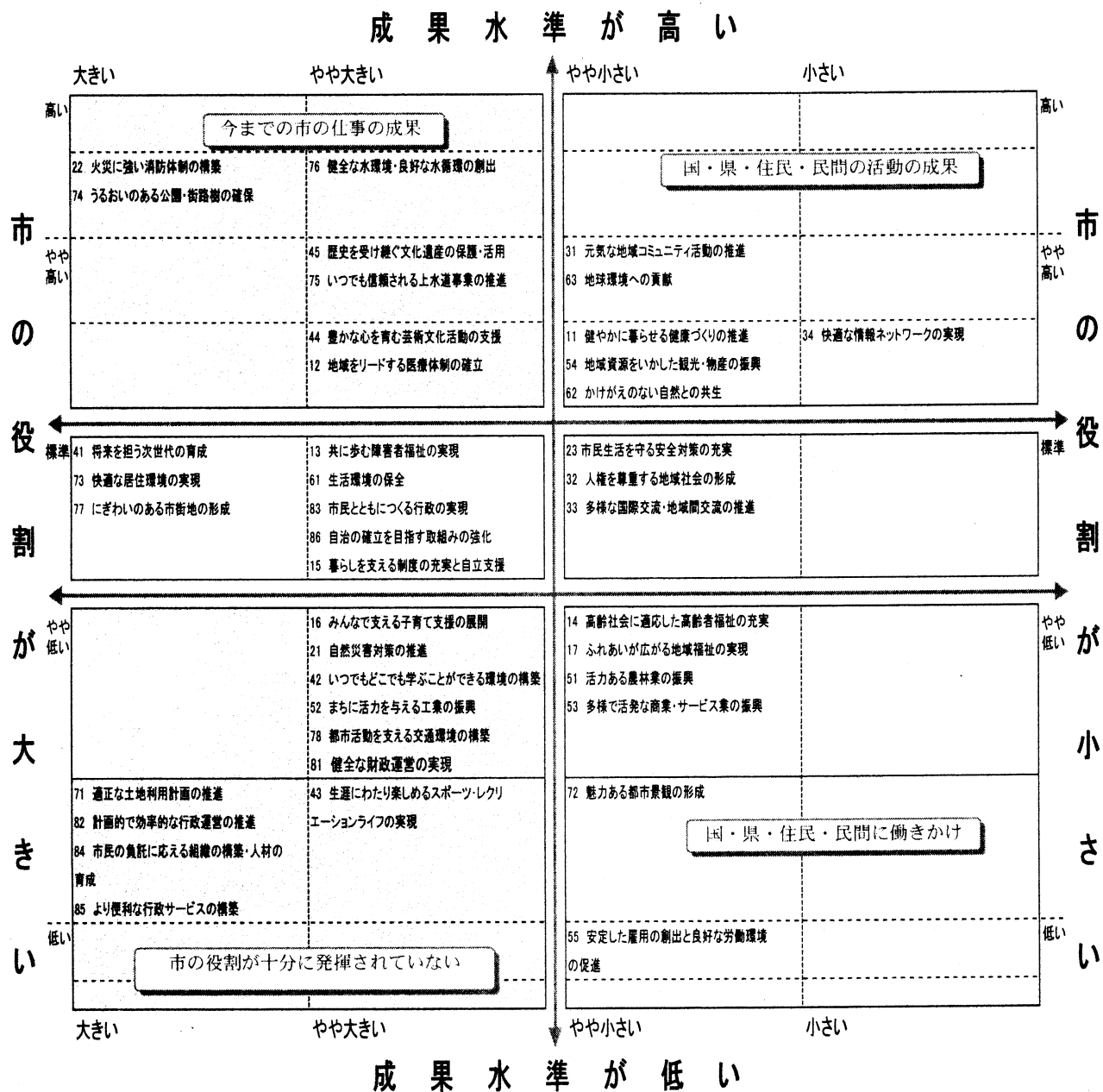
成果指標			
指標名	単位	H19目標	H19実績
市に移譲された事務数 (ノ)	件	498	498

基本事業	成果指標			
	指標名	単位	H19目標	H19実績
広域行政の充実	市と隣接町村との協力関係数（一部事務組合や協議会等の設置数，共同処理している事務事業数）：※当市関連分 (ノ)	件	109	110
地方分権の推進	特例市移行による委譲事務数 (→)	件	336	336
	県からの委譲事務数 (ノ)	件	162	162
	中核市移行による移譲事務数 (→)	件	あらたに設定した指標であるため数値は記載を省略しています。	

市民満足度	■満足 ■やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満			
	1.4	9.5	68.2	14.2

3 施策の貢献度評価

施策の貢献度評価は、施策の「成果水準」と「施策の成果向上に市が果たす役割の大きさ」の2点の評価をクロス集計するもので、これにより、市の仕事の成果が現れている分野や市の役割が十分に発揮されていない分野が明らかになります。



◎施策の貢献度評価結果一覧表（前ページの図を一覧表形式にしたものです）

施策の柱	No.	施策名	成果水準	市の役割
いきいきとして安心できる暮らし	11	健やかに暮らせる健康づくりの推進	やや高い	やや小さい
	12	地域をリードする医療体制の確立	やや高い	やや大きい
	13	共に歩む障害者福祉の実現	標準	やや大きい
	14	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	やや低い	やや小さい
	15	暮らしを支える制度の充実と自立支援	やや低い	やや大きい
	16	みんなで支える子育て支援の展開	やや低い	やや大きい
	17	ふれあいが広がる地域福祉の実現	やや低い	やや小さい
安全な暮らし	21	自然災害対策の推進	やや低い	やや大きい
	22	火災に強い消防体制の構築	高い	大きい
	23	市民生活を守る安全対策の充実	標準	やや小さい
心がつながる相互理解	31	元気な地域コミュニティ活動の推進	やや高い	やや小さい
	32	人権を尊重する地域社会の形成	標準	やや小さい
	33	多様な国際交流・地域間交流の推進	標準	やや小さい
	34	快適な情報ネットワークの実現	やや高い	小さい
共に生き未来を創る教育・文化	41	将来を担う次世代の育成	標準	大きい
	42	いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築	やや低い	やや大きい
	43	生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーションライフの実現	やや低い	やや大きい
	44	豊かな心を育む芸術文化活動の支援	やや高い	やや大きい
	45	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	やや高い	やや大きい
活力ある産業の振興	51	活力ある農林業の振興	やや低い	やや小さい
	52	まちに活力を与える工業の振興	やや低い	やや大きい
	53	多様で活発な商業・サービス業の振興	やや低い	やや小さい
	54	地域資源をいかした観光・物産の振興	やや高い	やや小さい
	55	安定した雇用の創出と良好な労働環境の促進	低い	やや小さい
環境との共生	61	生活環境の保全	標準	やや大きい
	62	かけがえのない自然との共生	やや高い	やや小さい
	63	地球環境への貢献	やや高い	やや小さい
快適な都市機能	71	適正な土地利用計画の推進	やや低い	大きい
	72	魅力ある都市景観の形成	やや低い	やや小さい
	73	快適な居住環境の実現	標準	大きい
	74	うるおいのある公園・街路樹の確保	高い	大きい
	75	いつでも信頼される上水道事業の推進	やや高い	やや大きい
	76	健全な水環境・良好な水循環の創出	高い	やや大きい
	77	にぎわいのある市街地の形成	標準	大きい
	78	都市活動を支える交通環境の構築	やや低い	やや大きい
信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現	やや低い	やや大きい
	82	計画的で効率的な行政運営の推進	やや低い	大きい
	83	市民とともにつくる行政の実現	標準	やや大きい
	84	市民の負託に応える組織の構築・人材の育成	やや低い	大きい
	85	より便利な行政サービスの構築	やや低い	大きい
	86	自治の確立を目指す取組みの強化	標準	やや大きい

【参考資料：施策達成度評価の手順】

1 「指標の水準」の評価

(手順1) 施策の成果指標の実績値について、次のア、イ、ウのとおり5段階評価を行います。

なお、イ及びウについては、データがないか、指標の性質上、比較が適当と認められない場合には行わないこととします。

ア. 目標値比較

高い……目標値を大きく上回った。

目標に対する達成度 120%以上 3点

やや高い…目標値を若干上回った。

目標に対する達成度 100%以上120%未満 2点

概ね達成…概ね目標値のとおりだった。

目標に対する達成度 80%以上100%未満 1点

やや低い…目標値を若干下回った。

目標に対する達成度 60%以上80%未満 0点

低い……目標値を大きく下回った。

目標に対する達成度 60%未満 -1点

イ. 近隣比較

高い……近隣他都市と比べて高い水準である。

比較した自治体の中で上位 10%内 3点

やや高い…近隣他都市と比べてどちらかと言えば高い水準である。

比較した自治体の中で上位 30%内 2点

中位……近隣他都市と比べて中位の水準である。

比較した自治体の中で上位 50%内 1点

やや低い…近隣他都市と比べてどちらかと言えば低い水準である。

比較した自治体の中で上位 70%内 0点

低い……近隣他都市と比べて低い水準である。

比較した自治体の中で上位 70%以下 -1点

ウ. 経年比較

高い……過去3ヵ年の実績と比べて高い水準にある。

過去3年間の最高値以上 3点

やや高い…過去3ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば高い水準である。

過去3年間の平均値と最高値の中間値以上最高値未満 2点

中位……過去3ヵ年の実績と比べて中位の水準である。

過去3年間の平均値以上平均値と最高値の中間値未満 1点

やや低い…過去3ヵ年の実績と比べてどちらかと言えば低い水準である。

過去3年間の最低値と平均値の中間値以上平均値未満 0点

低い……過去3ヵ年の実績と比べて低い水準である。

過去3年間の最低値と平均値の中間値未満 -1点

(手順2) 手順1の結果から、ア、イ、ウの評点の平均を算出し、次の基準により5段階で評価します。

高い (3.0以上)	…	5点
やや高い (2.0以上3.0未満)	…	4点
標準 (1.0以上2.0未満)	…	3点
やや低い (0.0以上1.0未満)	…	2点
低い (0.0未満)	…	1点

※実際の評価作業においては、基本事業についての達成度も加味していますので、単純計算の結果と評価結果が異なっている場合があります。

2 「市民満足度」の評価

(手順1) 市民意識調査の結果をもとに、次の算出方法により満足度指数で算出します。

$$\text{満足度指数} = \left[\begin{aligned} & \text{「満足 (2点)」} \times \text{回答者数} + \text{「やや満足 (1点)」} \times \text{回答者数} \\ & + \text{「どちらともいえない (0点)」} \times \text{回答者数} + \text{「やや不満 (-1点)」} \\ & \times \text{回答者数} + \text{「不満 (-2点)」} \times \text{回答者数} \end{aligned} \right] \div \text{有効回答者数}$$

(手順2) 手順1で算出された満足度指数から、次の基準により5段階で評価します。

高い (30.0以上)	…	5点
やや高い (10.0以上30.0未満)	…	4点
中位 (0以上10.0未満)	…	3点
やや低い (-30.0以上0未満)	…	2点
低い (-30未満)	…	1点

3 「成果水準」の評価

上記「指標の水準」と「市民満足度」の5段階評価の点数を合算し、次の基準により5段階で評価します。

高い	…	9～10点
やや高い	…	7～8点
標準	…	6点
やや低い	…	4～5点
低い	…	2～3点



行政評価結果

問合先 盛岡市市長公室 行財政改革推進課

〒 020-8530 盛岡市内丸 12 番 2 号

電話 019-626-7553(直通)

電子メール gyoukaku@city.morioka.iwate.jp
